

2026年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会

2026年2月12日

ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社(以下「SBG」)及びその子会社(以下SBGと併せて「当社」)並びに関連会社(以下当社と併せて「当社グループ」)に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。証券の募集、購入の申し出の勧誘、又は証券の売出しは、1933年証券法(その改正を含む。以下、「証券法」という。)の登録要件に従って行われます。本資料に含まれる情報は、証券法ルール135に従って記載されるものです。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド(下記で別途定義)並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、アーム及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業(SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。)に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR(米国預託証券)に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR(以下「ADR」)の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設定又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法(以下「証券取引所法」)で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRIに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited(以下「SBGA」)、SB Investment Advisers (UK) Limited(以下「SBIA」)及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社(以下併せて「SBファンド運用会社」)により運用されるいずれかのファンド(文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」)のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」)、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」)及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」)を含みます。

SBファンド(ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む)、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因(例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。)に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	2025年3月期				2026年3月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
1米ドル	156.53	150.26	151.32	152.95	145.19	147.50	154.04	
期末レート	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
1米ドル				149.52			156.56	

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAm	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAm
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
Arm	Arm Holdings plc
Ampere	Ampere Computing Holdings LLC
□ボHD	Silver Bands 4 (US) Corp.
OpenAI	OpenAI Group PBC
Tモバイル	T-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アリババ	Alibaba Group Holding Limited

その他

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

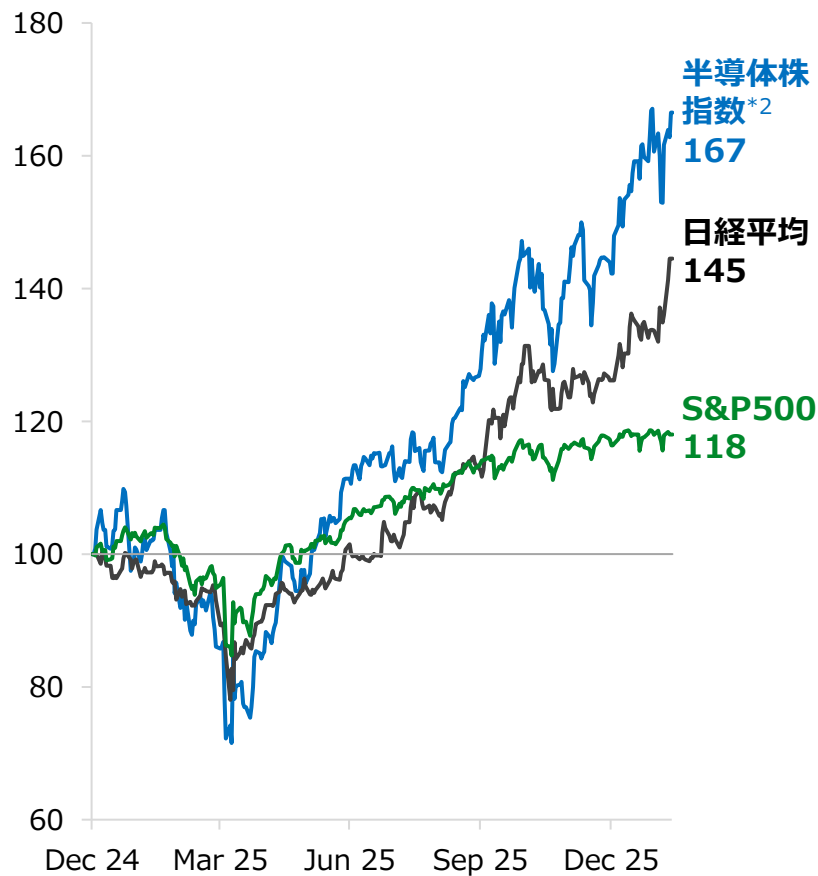
財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、ソフトバンク（同社子会社を含む）、Arm、SVF1、SVF2、LatAm等です。

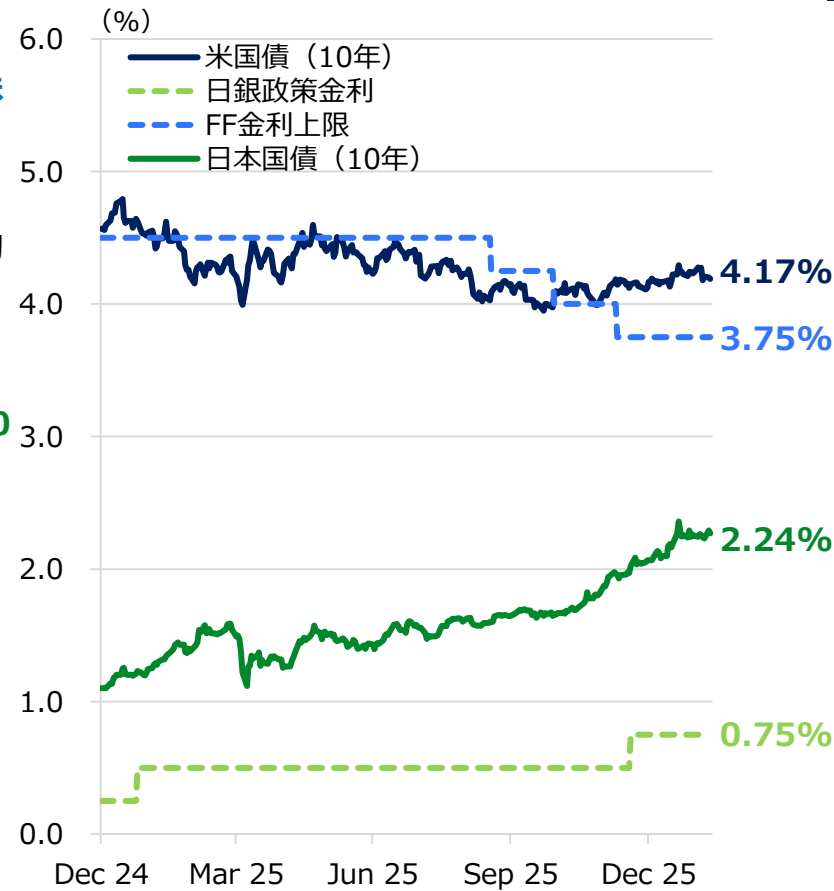
市場環境：2025年以降の動向

半導体指数を筆頭に株価指数は上昇。積極財政への懸念等から円金利は上昇
為替は4月以降、円安が継続

株価指数*1



日米金利



ドル円為替レート

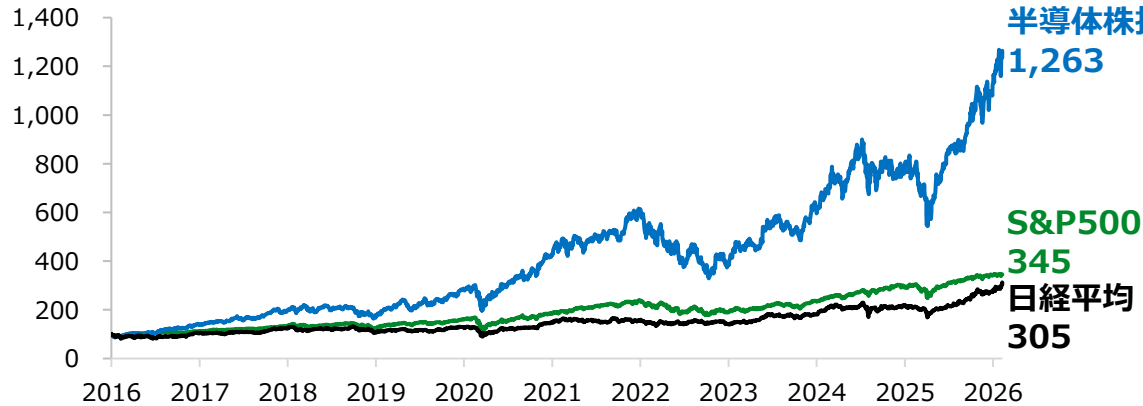


• Bloombergを基に当社作成。2026年2月11日時点
*1 2024年末を100として指数化
*2 半導体株指数：フィラデルフィア半導体株指数 (SOX)

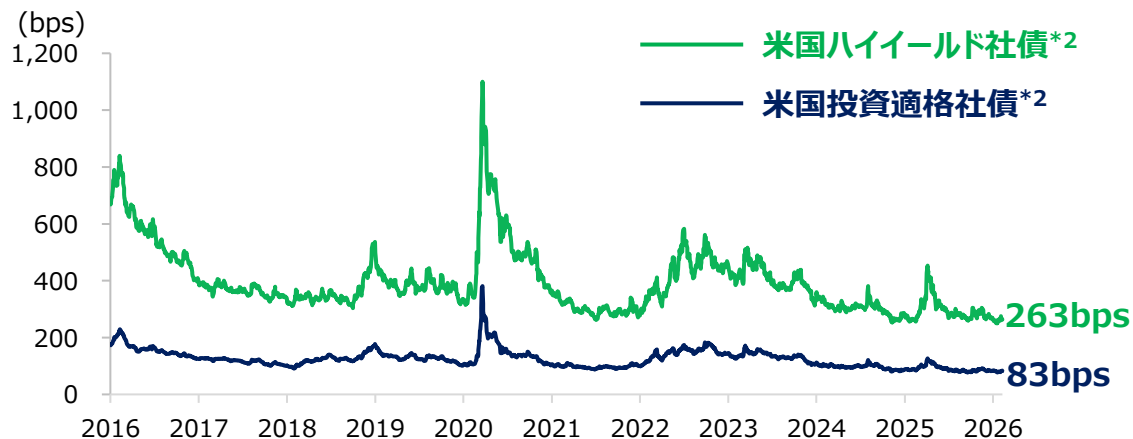
市場環境：好調な市況継続 vs 潜在的リスク

株式・クレジット市場は堅調に推移する一方、多数の不確実性が存在

株価指数*1



クレジットスプレッド



潜在的リスク

国際情勢



資産/資源
価格変動



プライベート
クレジット



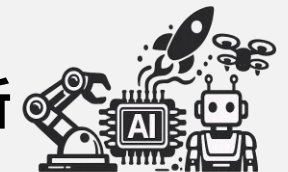
米国景気
後退



政治的
混乱



技術革新



* Bloombergを基に当社作成。2026年2月11日時点

* アイコンはChatGPTを用いて生成

*1 2016年初を100として指数化

*2 半導体株指数：フィラデルフィア半導体株指数（SOX）、米国ハイールド社債：Bloomberg US Corporate High Yield Average OAS、米国投資適格社債：Bloomberg USD Liquid Investment Grade Corp Average OAS

FY2025 Q3 – 主要指標

大型投資に備えた着実な資金化等により財務健全性を維持

	FY2025		主な増減要因
	Q2	Q3	
NAV	33.3兆円	30.9兆円 (-2.4兆円)	円安ドル高 (+1.6兆円)、SVF価値増加 (+0.6兆円)、Arm株価下落 (-4.4兆円)
LTV	16.5%	20.6% (+4.1ポイント)	保有資産の資金化 (-6.5ポイント) *3、新規投資 (+8.9ポイント)、Arm株価下落 (+2.3ポイント)
手元流動性*1	4.2兆円	3.8兆円 (-0.5兆円)	保有資産の資金化 (+3.0兆円) *3、負債調達・返済 (+1.7兆円)、新規投資 (-5.0兆円)
純有利子負債*2	6.6兆円	8.0兆円 (+1.5兆円)	保有資産の資金化 (-3.8兆円) *3、新規投資 (+5.0兆円)

• NAV (Net Asset Value : 時価純資産) = 調整後SBG単体保有株式価値 - 調整後SBG単体純有利子負債

• LTV : 詳細はAppendix「LTVの算出: SBG単体 保有株式価値」および「LTVの算出: SBG単体 純有利子負債」を参照

*1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + 借入枠の未使用金額。2025年12月末の借入枠の未使用金額は9,452億円 (コミットライン)。Q3 : SBG単体手元流動性に含まれる債券投資の一部を主な担保とした、SB Northstarによるプライムブローカレッジローン (PBOローン) 残高4,698億円を控除

*2 調整後SBG単体純有利子負債。詳細は「LTVの算出: SBG単体 純有利子負債」を参照

*3 保有資産の資金化: 手元流動性の増加は3.0兆円、そのうちArmマージンローン借入枠拡大\$6.5B、SBKKマージンローン増額4,000億円。純有利子負債の減少は3.8兆円、そのうちArmマージンローン借入増額\$11.5B、SBKKマージンローン増額4,000億円

- Armマージンローン: Q2借入枠は\$13.5B (うち借入残高は\$8.5B)、Q3借入枠は\$20.0B (全額借入)

- SBKKマージンローン: Q2借入残高は8,000億円、Q3借入残高は1.2兆円

FY2025 Q3 – 財務サマリー

OpenAI追加出資（\$22.5B）・Ampere買収（\$6.5B）を完了 多様な資金調達チャネルを活用

実績

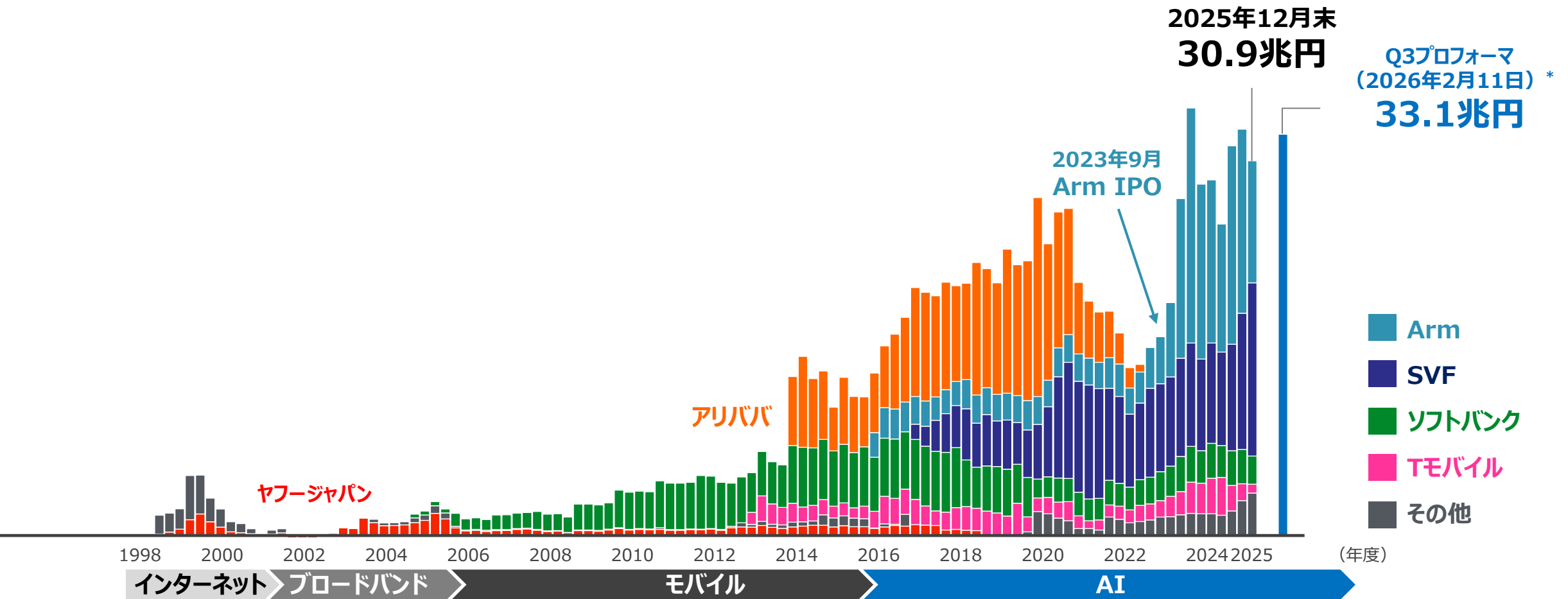
財務	負債調達	外貨建ハイブリッド債	\$2.9B	4,514億円	
		国内シニアリテール債	\$3.2B	5,000億円	
	Ampereブリッジローン	\$6.5B	1兆222億円	ドローダウン	
財務	保有資産の資金化	Armマージンローン（総額）	\$20.0B	3兆1,312億円	借入枠\$6.5B増額 未使用枠\$11.5Bの全額を借入れ
		SBKKマージンローン（総額）	\$7.7B	1兆2,000億円	4,000億円追加借入
		上場株売却（Q3）	\$10.1B	1兆5,867億円	NVIDIA、Tモバイル、ドイツテレコム等
		上場株売却（Q4）	\$2.3B	3,601億円	Tモバイル
財務	自社株	株式分割		1:4の分割	効力発生日：2026年1月1日
投資	投資実行	OpenAI追加投資	\$23.8B	3兆7,261億円	累計\$34.6B* (10月: \$1.3B*、12月: \$22.5B)
		Ampere買収	\$6.5B	1兆222億円	

今後の主な投資

- ABB ロボティクス事業 \$5.4B (8,415億円) : 2026年半ばから後半 (予定)
- DigitalBridge \$3.1B (4,853億円) : 2026年後半 (予定)

NAVの推移

30兆円規模で推移



(注) 各四半期末時点の保有株式価値の割合で按分

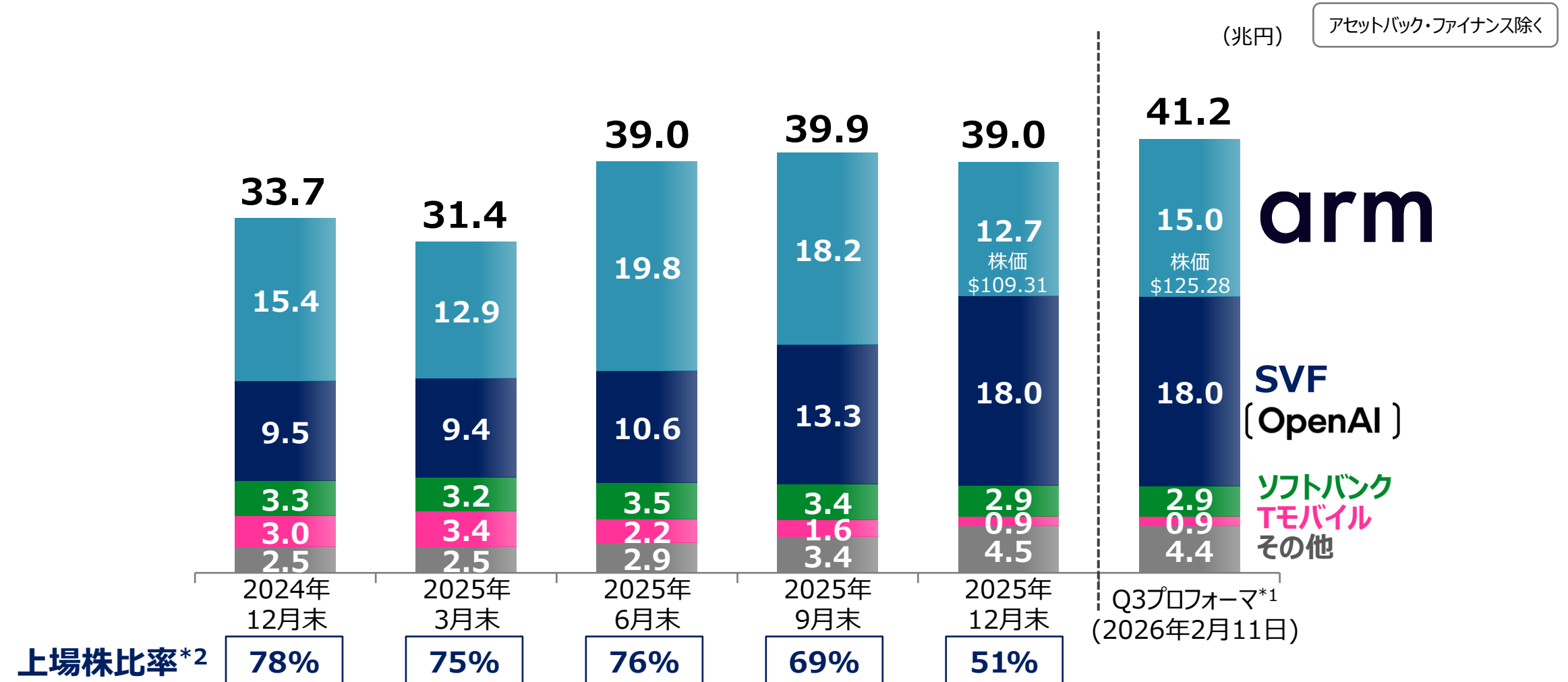
・ NAV (Net Asset Value : 時価純資産) = 調整後SBG単体保有株式価値 - 調整後SBG単体純有利子負債

・ NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない。

* 2025年12月末時点の資産・負債構成に、2026年2月11日時点で入手可能な直近の株価・為替レートを適用して試算した参考値であり、将来の値を保証・示唆するものではない。

保有株式価値の推移

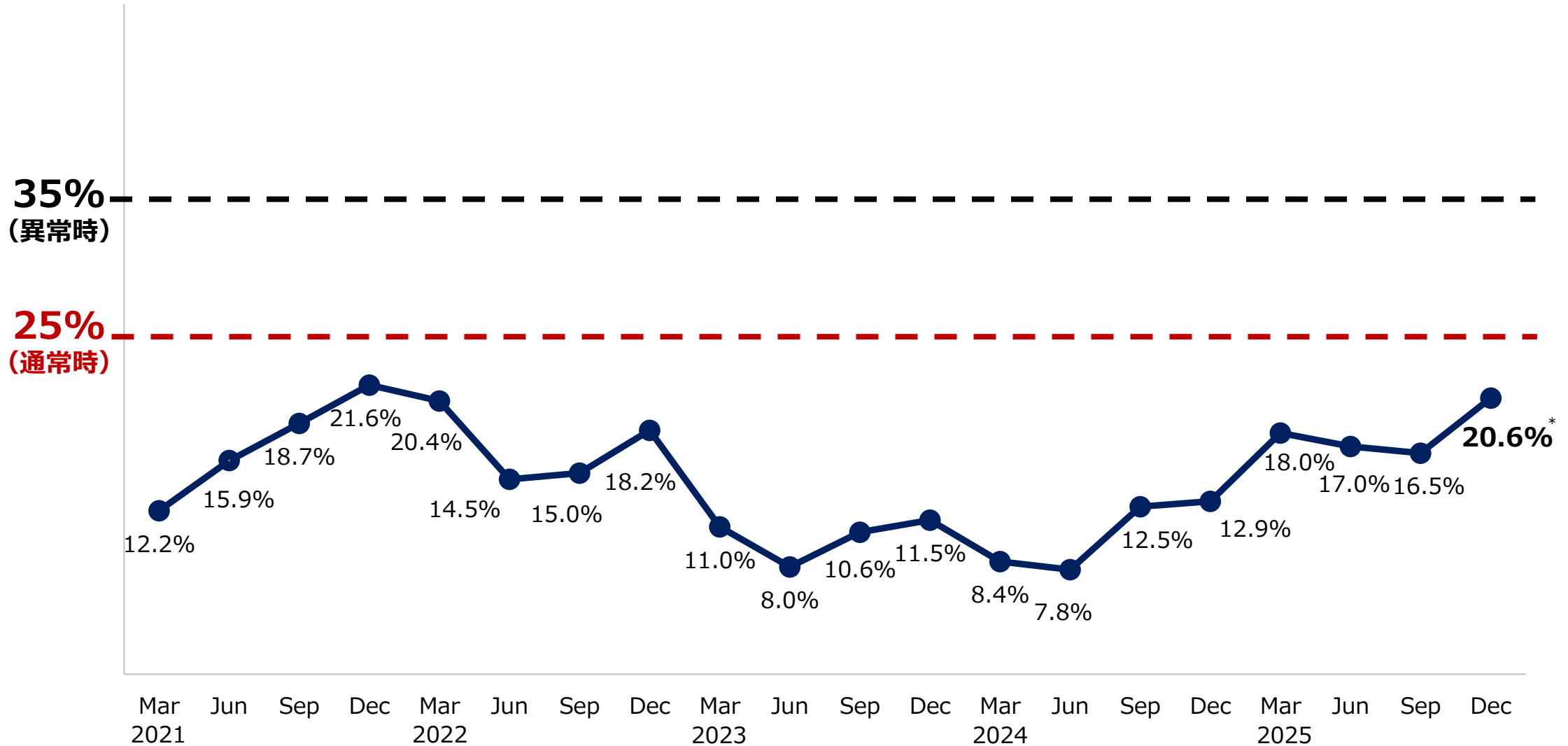
SVF拡大の一方、上場株の株価下落や資金化等により、ほぼ横ばい



・ 保有株式価値の詳細は、各四半期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照
 *1 2025年12月末時点の資産・負債構成に、2026年2月11日時点で入手可能な直近の株価・為替レートを適用して試算した参考値であり、将来の値を保証・示唆するものではない。
 *2 アーム、ソフトバンク、Tモバイル、SVFが保有する上場株式、および「その他」に含まれる上場株式を含む。(ただし、SVFはSBGの持分のみを含む)

LTVの推移

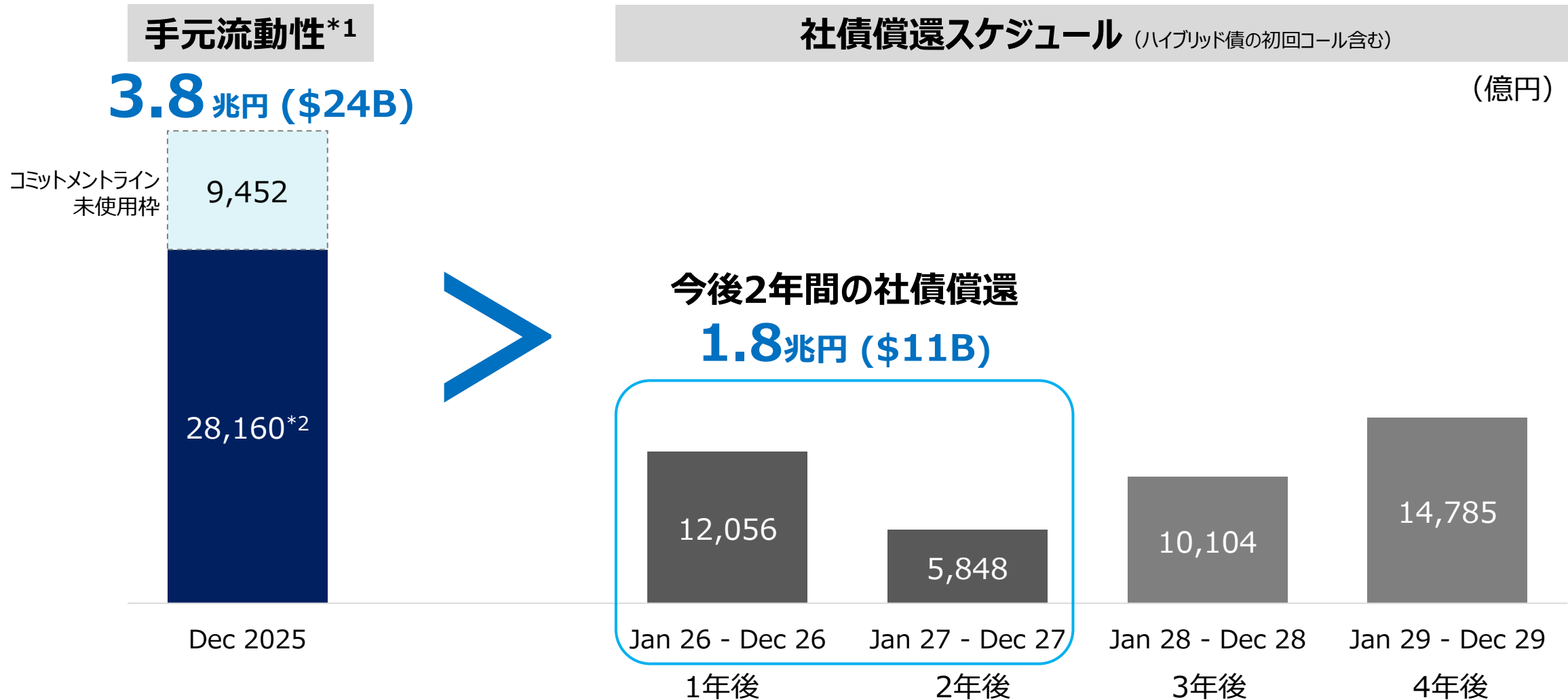
大型投資実行も、LTVを25%未満でコントロール



・ 各四半期末時点の数値を記載
 * 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

手元流動性と今後の社債償還

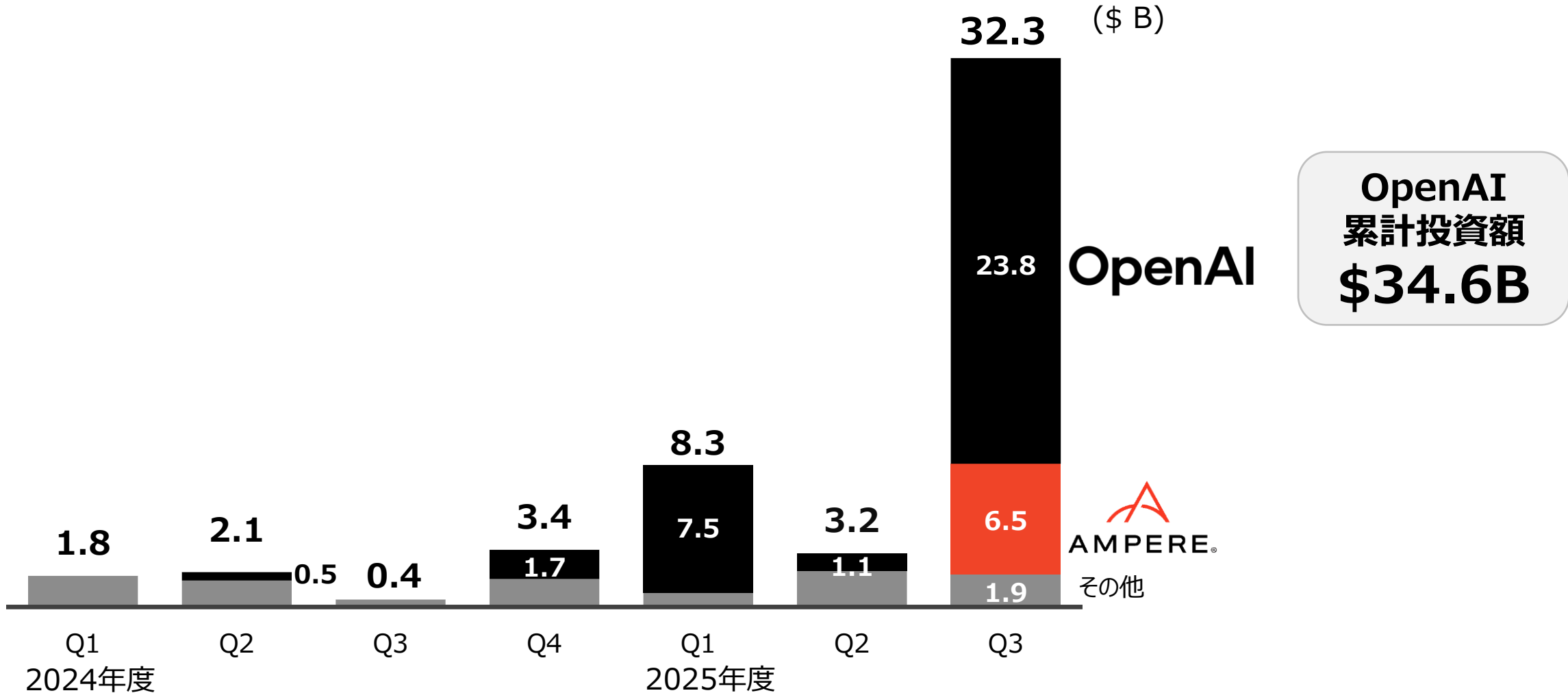
社債償還2年分を超える手元流動性を維持



*1 現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+債券投資+借入枠の未使用金額。2025年12月末の借入枠の未使用金額は9,452億円(コミットメントライン)

*2 SBG単体手元流動性に含まれる債券投資の一部を主な担保とした、SB Northstarによるプライムプロセカレッジローン(PBローン)残高4,698億円を控除

OpenAIセカンドクロージングおよびAmpere買収を完了



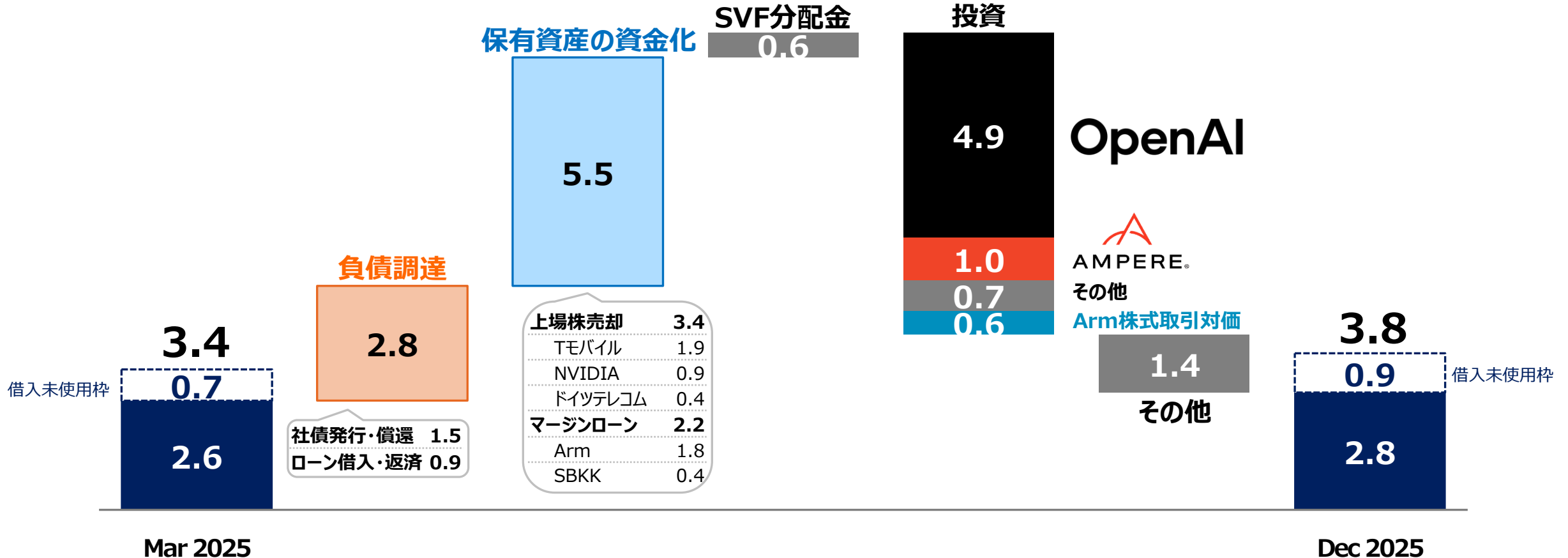
(注) 投資実績:

- SBG: SBG、主な100%子会社およびロボHDからの投資額（グループ内取引および債券投資の投資額を除く）。Ampereについては同社買収のための支出額（Armへの支払額を含む）。その他の子会社化した投資については、連結キャッシュ・フロー計算書上の「子会社の支配獲得による収支」
- SVF: 連結キャッシュ・フロー計算書上の「SVFの投資の取得による支出」。ただし、OpenAIについては売却額をネットして表示

手元流動性の増減要因（2025年3月末-12月末）

複数の調達手段を組み合わせることで投資資金を確保

(兆円)

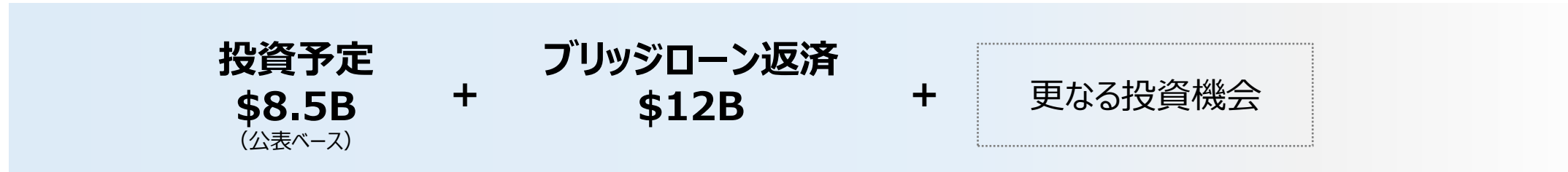


(注) 各四半期の平均レート等により円換算

- 手元流動性：現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + 借入枠の未使用金額。2025年12月末の借入枠の未使用金額は9,452億円（コミットメントライン）。SBG単体手元流動性に含まれる債券投資の一部を主な担保とした、SB Northstarによるプライムブローカレッジローン（PBローン）残高4,698億円を控除
- 負債調達：SBGの国内シニア債（+¥1.12T）、国内ハイブリッド債（+¥200.0B）、米ドル建シニア債（+\$2.2B）、ユーロ建シニア債（+€1.7B）、米ドル建ハイブリッド債（+\$2.0B）、ユーロ建ハイブリッド債（+€750M）の発行、OpenAI投資用ブリッジローン調達・返済ネット額（+\$5.5B）、Ampere買取用ブリッジローン調達（+\$6.5B）と社債の満期償還（国内シニア債（-¥500.0B）、米ドル建シニア債（-\$0.9B）、ユーロ建シニア債（-€1.6B））等をネットして記載
- 保有資産の資金化：Tモバイル株式の一部売却（+\$12.69B）、ドイツテレコム株式を利用したカー取引の決済および保有するドイツテレコム株式の一部売却（+\$2.74B）、資産運用子会社の保有分を含むNVIDIA株式の全売却（+\$5.83B）、SVF1からの分配（+\$3.1B）、SVF2からの分配・返還（+\$617M）、LatAmファンドからの分配・返還（+\$262M）を、Armマージンローンの借入実行分（+\$11.5B）、SBKKマージンローンの借入実行分（+¥400.0B）
- 投資：SVF+SBG投資（合計-\$43.8B）+Arm株式取引対価4回目（-\$3.8B）
 - SVF投資額：連結キャッシュ・フロー計算書上の「SVFの投資の取得による支出」。ただし、OpenAIについては売却額をネットして表示
 - SBG投資額：SBG、主な100%子会社およびIPO/HDからの投資額（グループ内取引および債券投資の投資額を除く）。Ampereについては同社買収のための支出額（Armへの支払額を含む）。その他の子会社化した投資については、連結キャッシュ・フロー計算書上の「子会社の支配獲得による収支」

投資資金の資金調達

LTVに配慮しながらあらゆる調達市場にアクセス



ABBロボティクス事業 \$5.4B
DigitalBridge \$3.1B

計画的に資金調達を実行

保有資産の活用	負債市場の活用	手元流動性*2										
<p>保有株式価値*1 \$249B (39.0兆円) 上場株・未上場株ともに資金化の対象</p> <p>TEモバイル (\$ B)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20%;">28</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 10%;">19</td> <td style="width: 45%;">115</td> <td style="width: 10%;">81</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>SBKK</td> <td></td> <td>SVF</td> <td>Arm</td> </tr> </table>	28	6	19	115	81	その他	SBKK		SVF	Arm	<p>国内債・外債 ローン</p> <hr/> <p>ハイブリッド債 (資本性50%)</p>	<p>\$24B (3.8兆円)</p> <p>2年分の社債償還資金 \$11B (1.8兆円)</p>
28	6	19	115	81								
その他	SBKK		SVF	Arm								

・ 1ドル=156.56円にて換算

*1 アセットバック・ファイナンス除く

*2 手元流動性=現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+債券投資+借入枠の未使用金額。2025年12月末の借入枠の未使用金額は9,452億円(コミットメントライン)。SBG単体手元流動性に含まれる債券投資の一部を主な担保とした、SB Northstarによるプライムブローカレッジローン(PBローン)残高4,698億円を控除

財務方針に変更なし

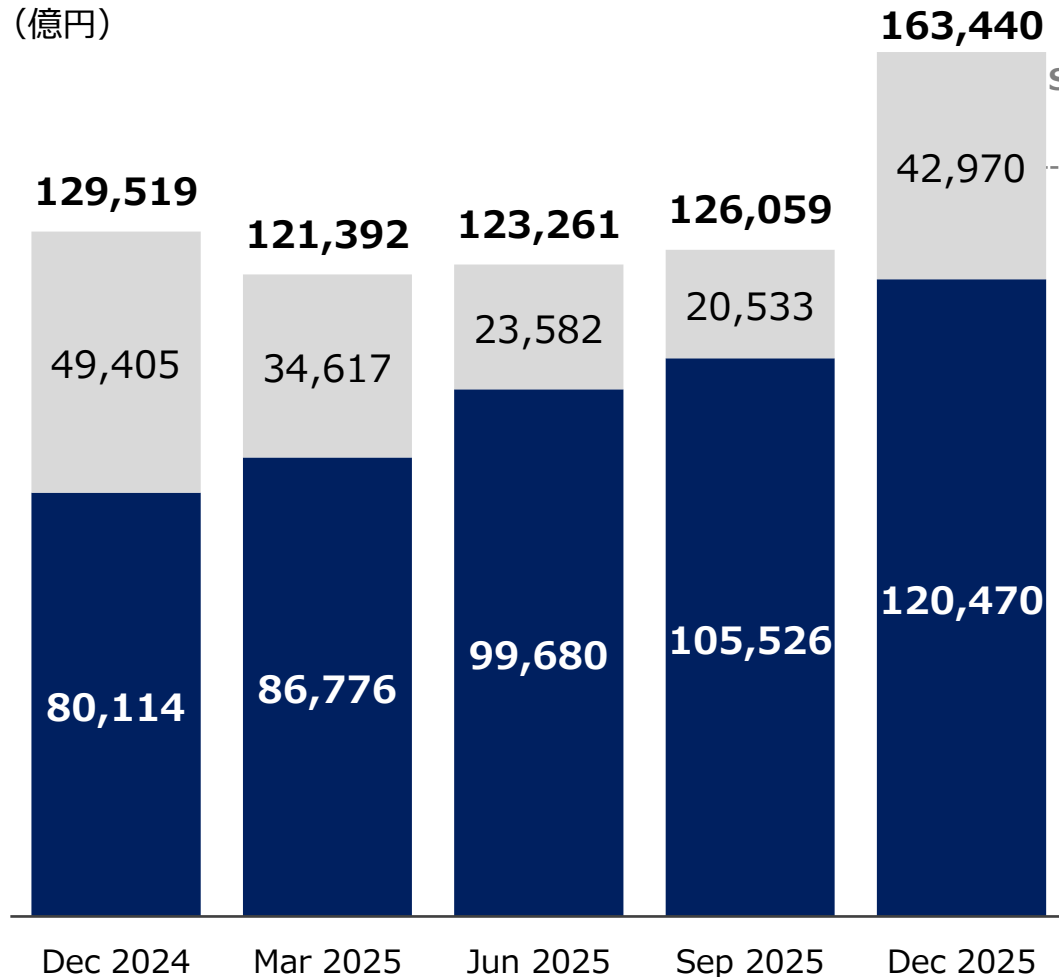
通常時 **LTV25%未満** で運用 (異常時でも上限35%)

少なくとも **2年分の社債償還資金** を保持

SBG単体 有利子負債*

主に社債の発行により増加
 マージンローン増額によってノンリコース負債も増加

(億円)



SBGにノンリコース

2025年12月末 内訳 (億円)

項目	2025年12月末	対9月末
SBG 借入金		
銀行借入	28,052	-862
ハイブリッドローン	1,850	+2
小計	29,902	-859
SBG 社債・CP		
国内シニア債	35,551	+4,959
国内劣後債	10,228	+5
国内ハイブリッド債	9,916	+7
外貨建シニア債	22,990	+1,183
外貨建ハイブリッド債	4,467	+4,467
CP	2,295	+390
小計	85,447	+11,012
SBG リース負債		
	69	-4
子会社 有利子負債		
SBKKマージンローン	11,960	+3,990
Armマージンローン	31,009	+18,447
SB Northstar	4,698	+4,698
その他	353	+96
小計	48,021	+27,231
合計	163,440	+37,381

Ampereブリッジローン借入 +10,129
 コミットメントライン返済 -8,951
 OpenAIブリッジローン返済 -2,512

新規発行 (12月)

新規発行 (10月)

増額借入

増額借入

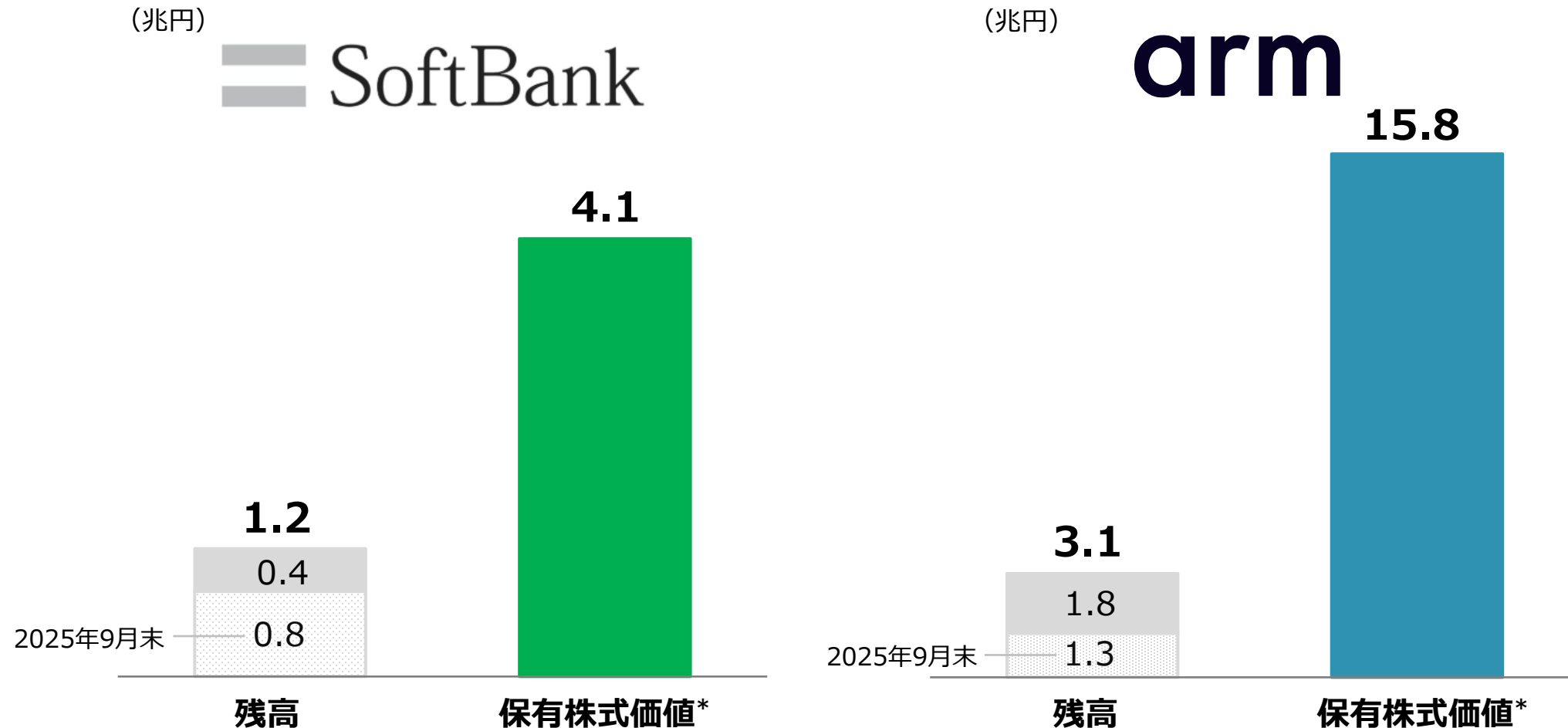
PBローンの借入

* SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

マージンローンの状況

豊富な保有株式の活用によるマージンローンの取り組みを強化

残高と保有株式価値 (2025年12月末時点)



* アセットバック・ファイナンス調整前

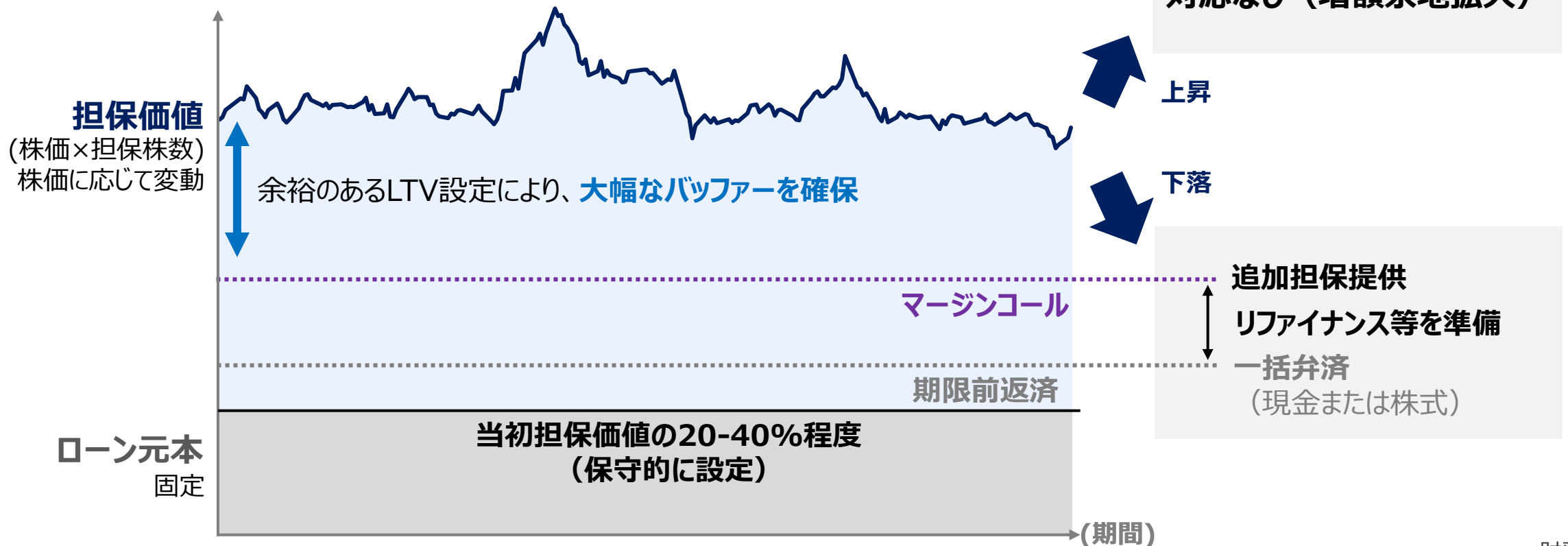
主な当社グループのマージンローンの設計・運用

株価変動へのバッファを確保したLTV設定。株価水準に応じて柔軟かつ保守的に対応

ストラクチャー

- 株式を担保としたローン。資金調達子会社を通じて実行
- 返済は担保株式のみにリコースし、SBGにノンリコース
- 一定の株価水準を下回る場合、追加担保や期限前返済が必要

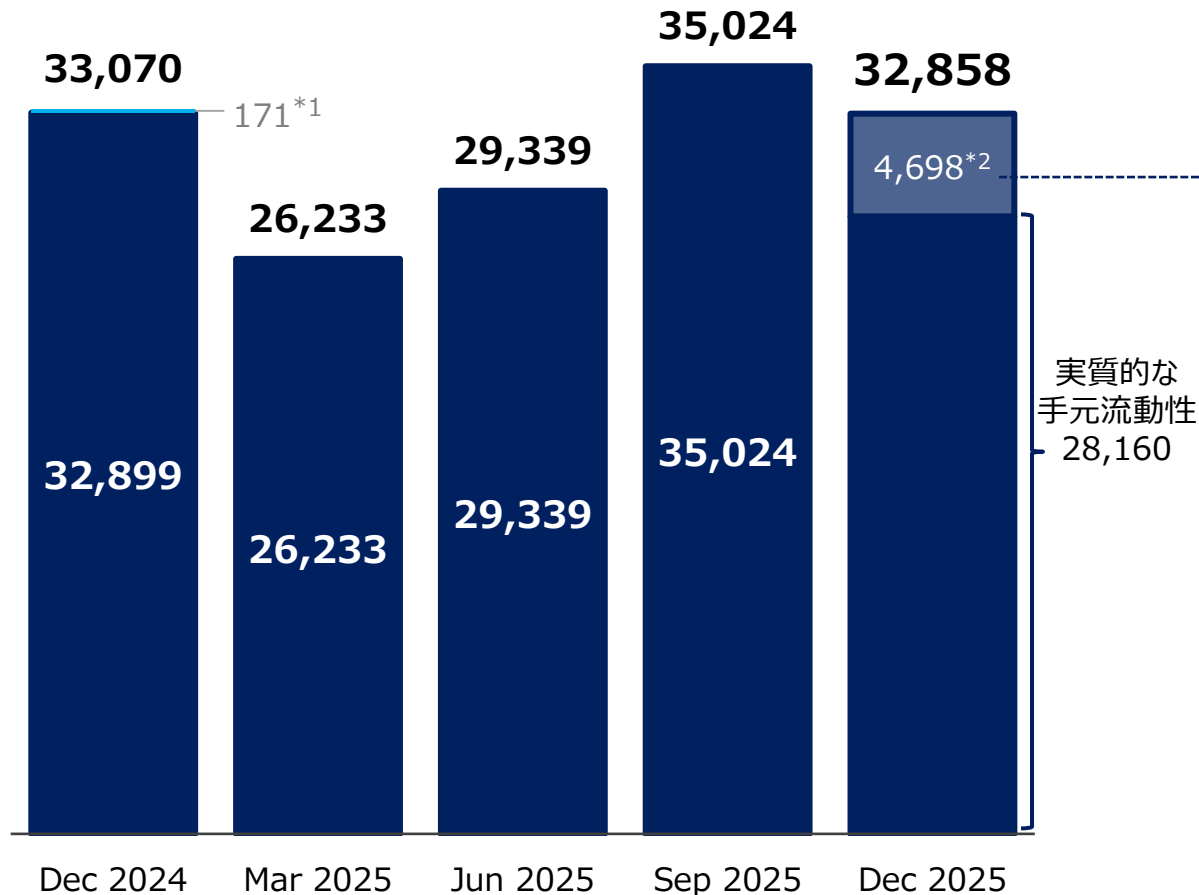
株価変動時の対応



SBG単体 手元流動性

大型投資実行も、保有資産の積極活用や社債発行等により手元流動性の水準を維持

(億円)



2025年9月末からの主な変動要因	
増加	減少
<ul style="list-style-type: none"> ローン借入 (+1兆4,859億円) Ampereブリッジローン +\$6.5B PBOローン +\$3.0B*2 上場株売却 (+\$10.1B) NVIDIA +\$5.8B Tモバイル +\$3.6B ドイツテレコム +\$0.4B マージンローン (+2兆1,715億円) Arm +\$11.5B SBKK +4,000億円 社債発行 (+9,383億円) SVF分配金 (+\$0.8B) 	<ul style="list-style-type: none"> ローン返済 (-1兆2,040億円) コミットメントライン (-8,920億円) OpenAIブリッジローン (-\$2.0B) 新規投資 (-\$32.3B) OpenAI -\$23.8B Ampere -\$6.5B その他 -\$1.9B 利息・配当の支払 (-1,834億円) *3 税金の支払 (-1,742億円) *3

* 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。SBG単体ベース

*1 2025年3月末よりSB NorthstarをSBG単体と一体とみなしてSB Northstarの区分表示を取りやめ。SB Northstarは、2024年12月末までは「資産運用子会社からの投資」を含み、2025年3月末以降はそのうち債券投資のみを含む。

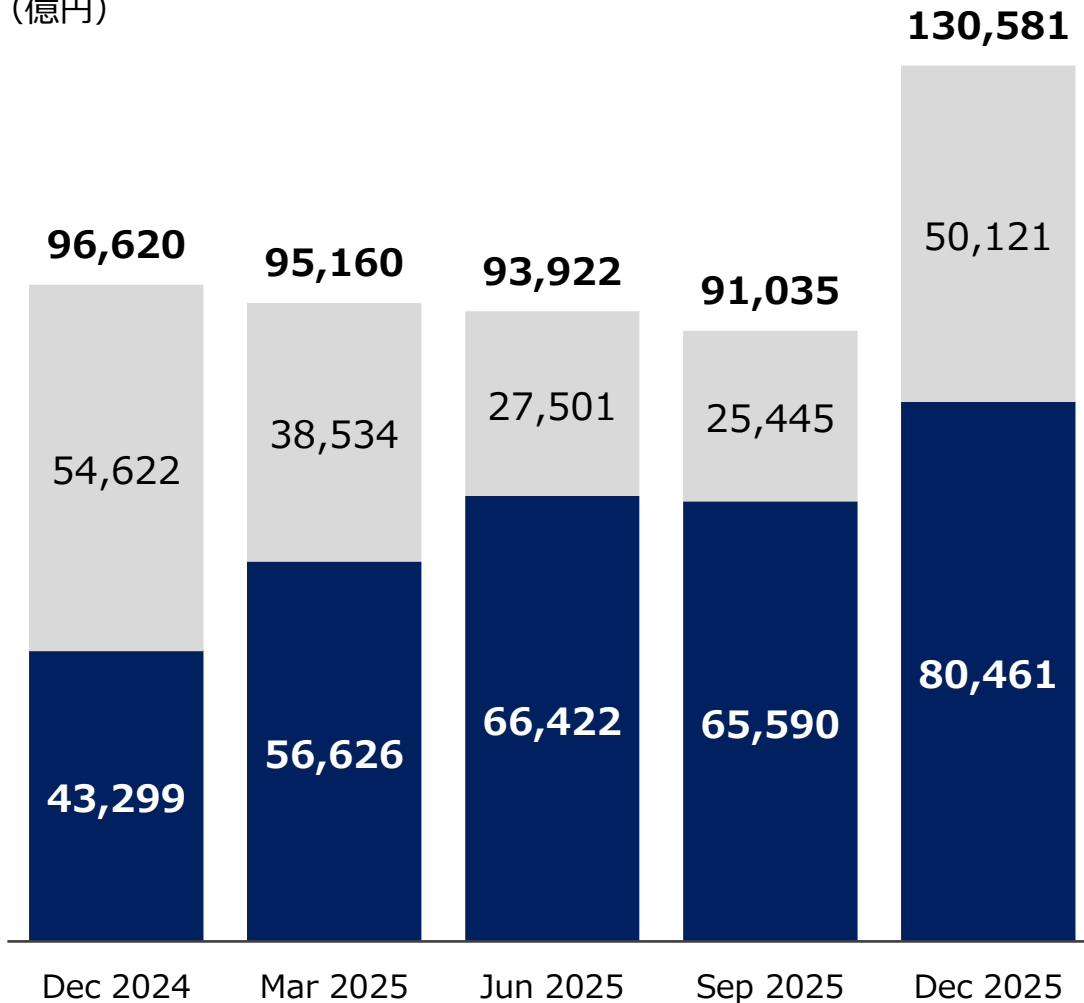
*2 SBG単体手元流動性に含まれる債券投資の一部を主な担保とした、SB Northstarによるプライムプロ-カレッジローン (PBOローン) 残高4,698億円 (\$3.0B)

*3 ソフトバンクグループ株式会社 + 主要な100%調達子会社を集計

SBG単体 純有利子負債

負債調達や保有資産の資金化を組み合わせて大型投資を実行

(億円)



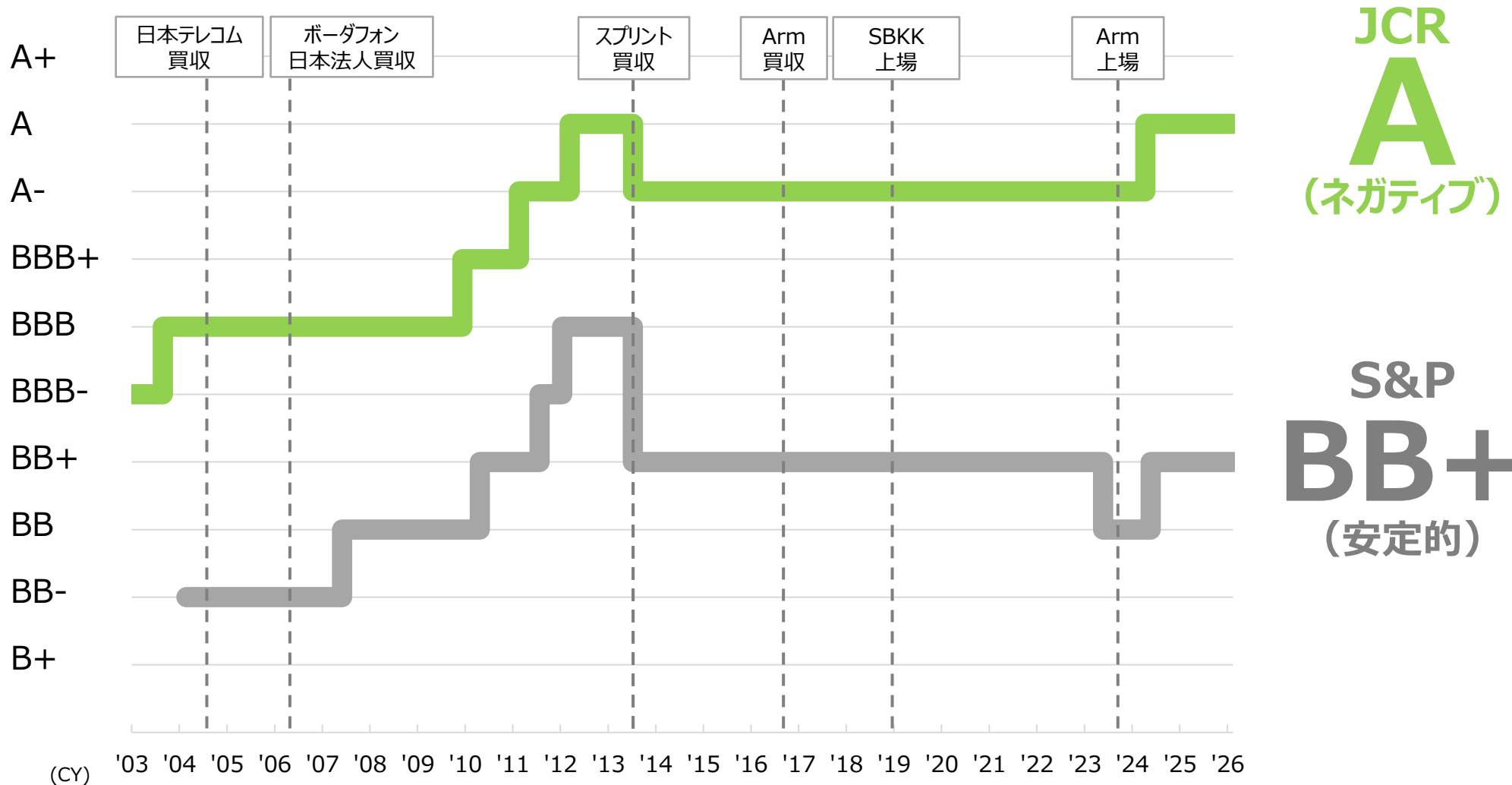
ファイナンス調整項目

アセットバック・ファイナンス調整等 4兆2,970億円
 ハイブリッドファイナンス調整 7,151億円

**調整後SBG単体純有利子負債
 (LTV計算に使用)**

(注) 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

SBGの格付推移



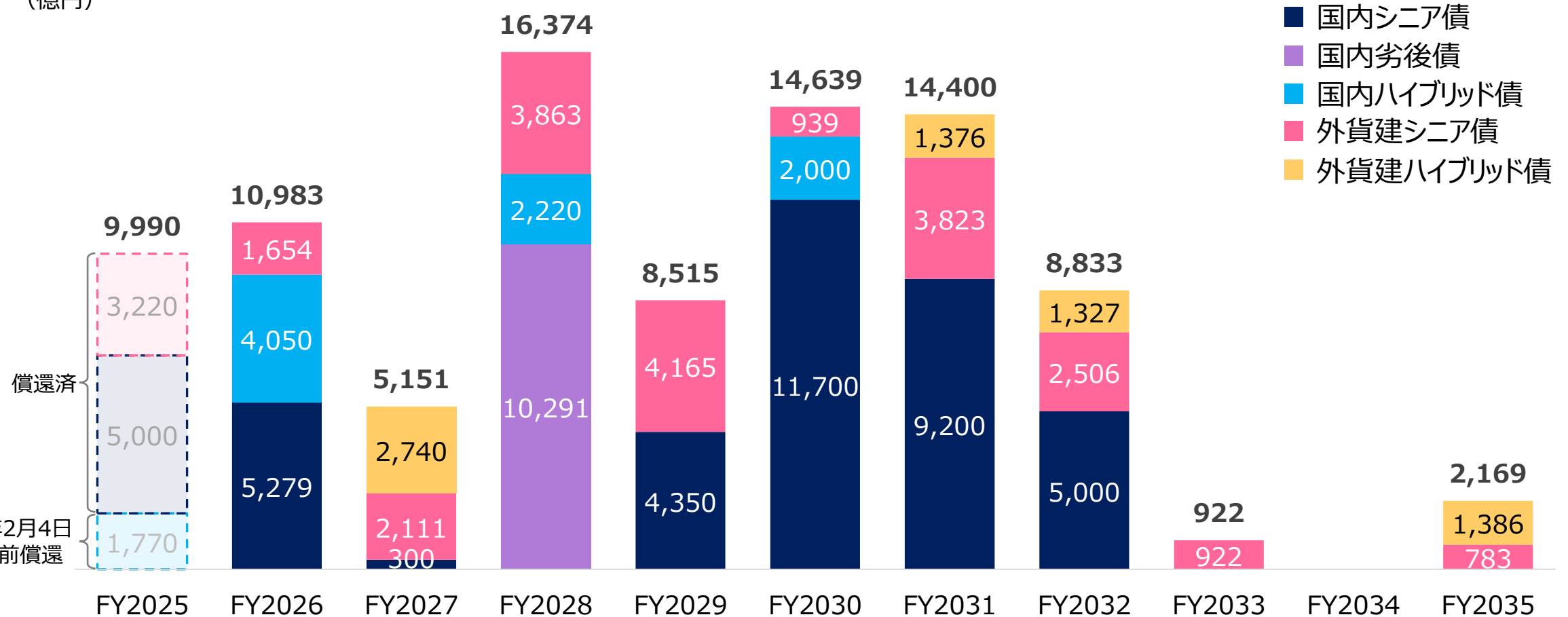
JCR
A
(ネガティブ)

S&P
BB+
(安定的)

社債償還スケジュール

今年度のリファイナンスは完了。国内ハイブリッド債を2月に償還（初回コール日）

(億円)

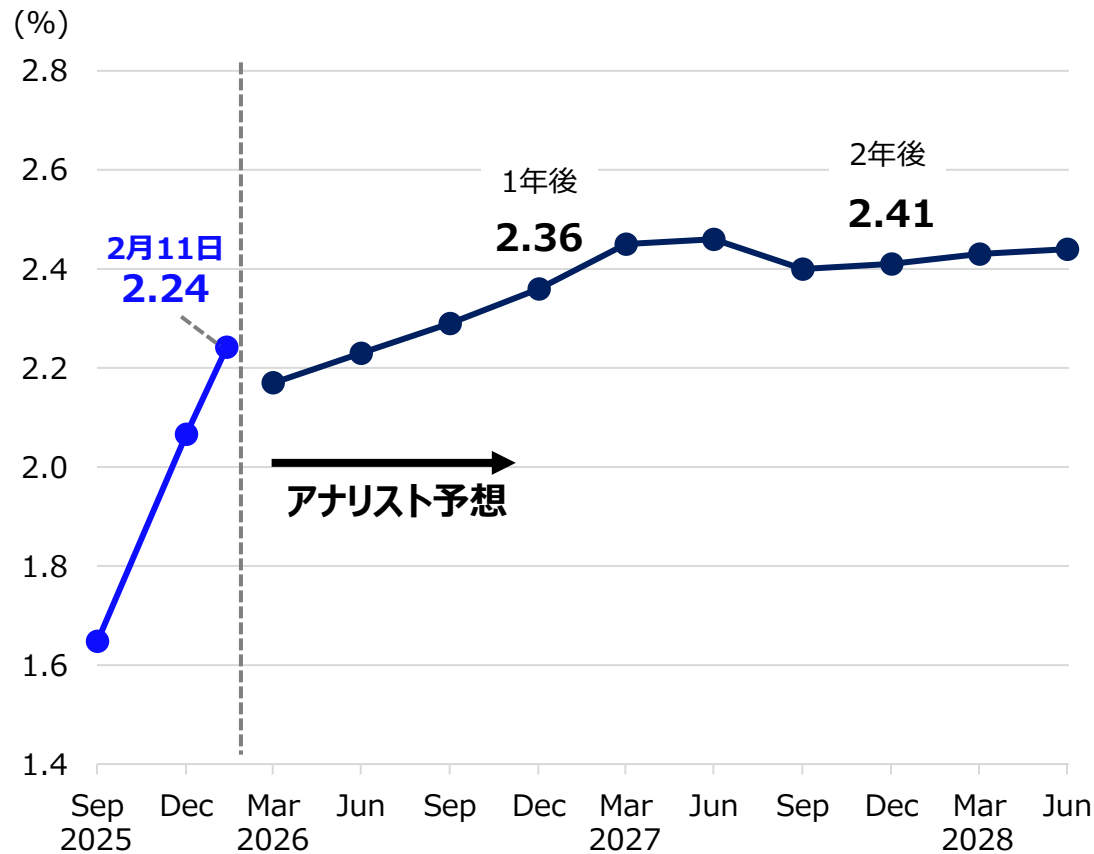


- 2025年12月末時点発行残高
- ハイブリッド債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
- 外貨建債は、スワップを締結しているものはスワップレートの換算、それ以外は1ドル=156.56円、1ユーロ=184.33円にて換算

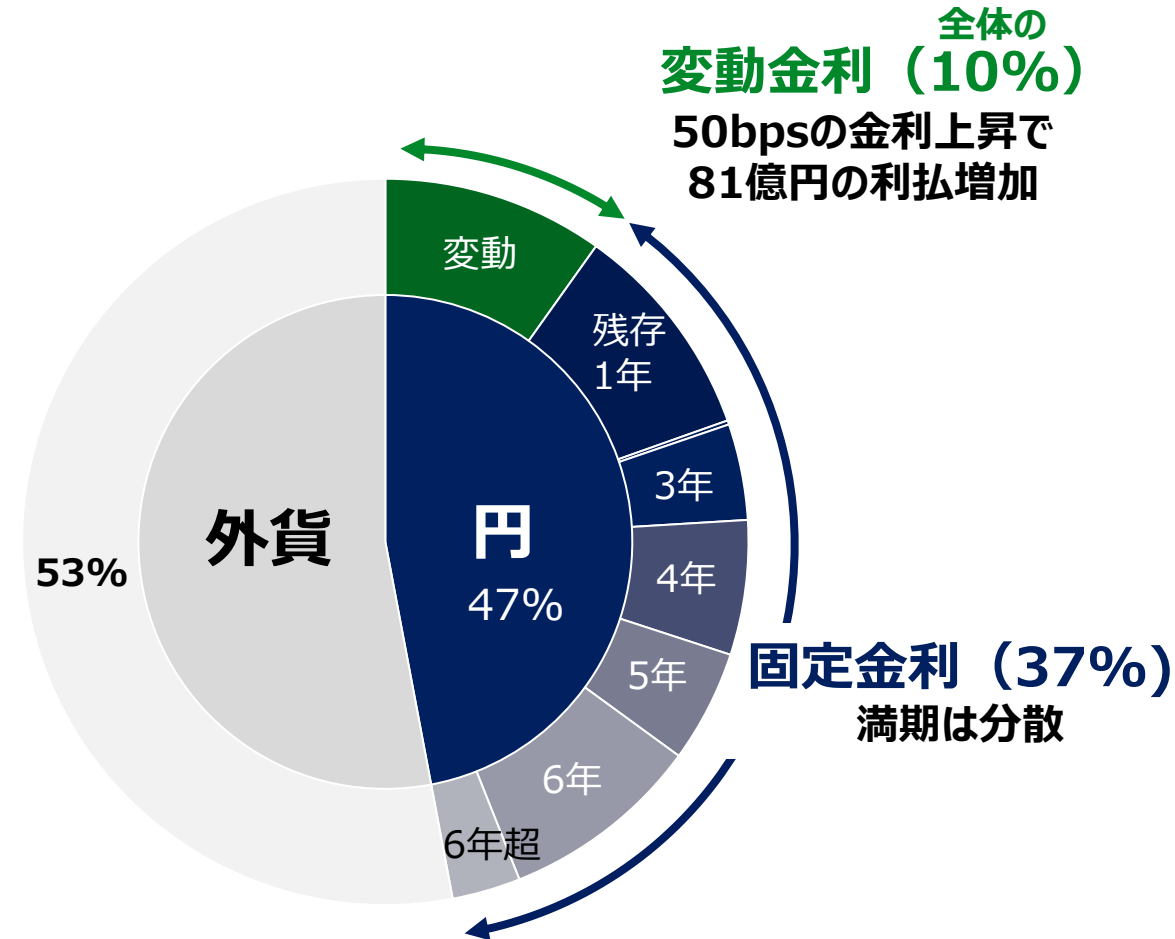
円金利上昇の影響

円金利上昇による利払影響は限定的 支払利息は投資と回収のサイクルのなかで管理

日本国債利回り（10年）の見通し（2月11日時点）*1



当社有利子負債の内訳*2



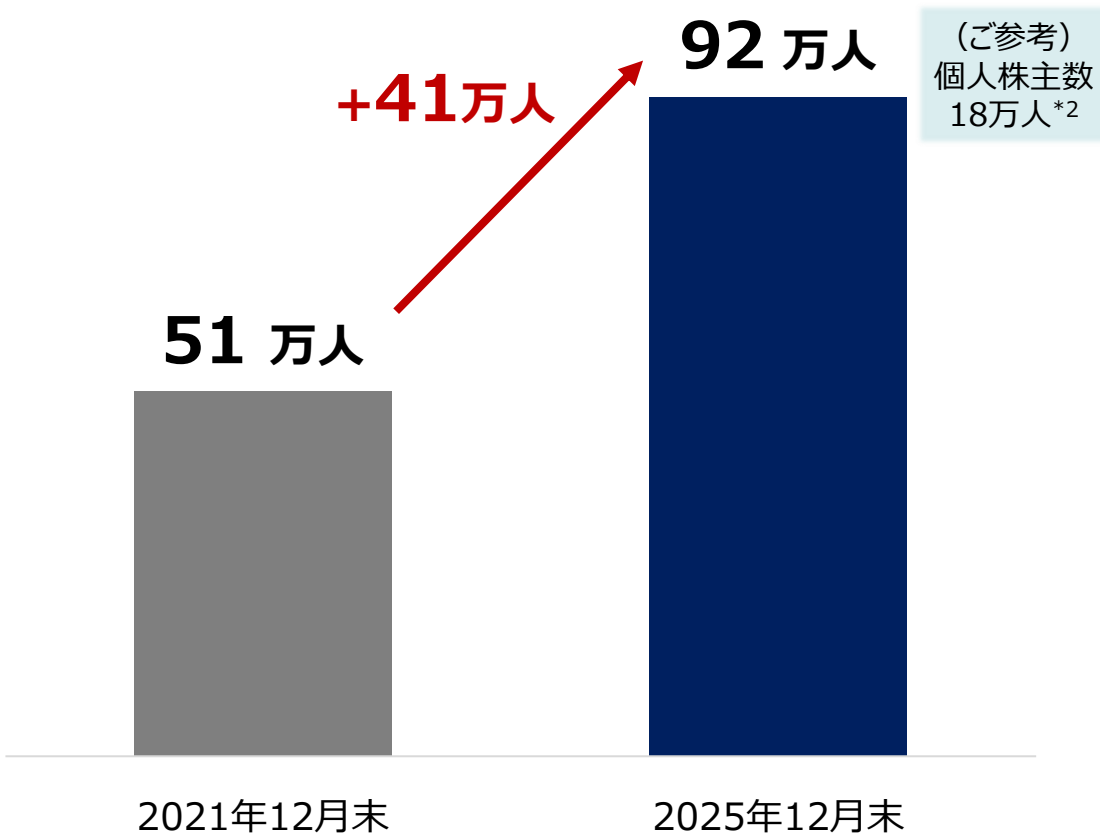
*1 Bloombergを基に当社作成。アナリスト予想の平均値（2026年2月6日調査）

*2 2025年12月末時点のSBGおよび資金調達を行う子会社における有利子負債残高（含むマージンローン）

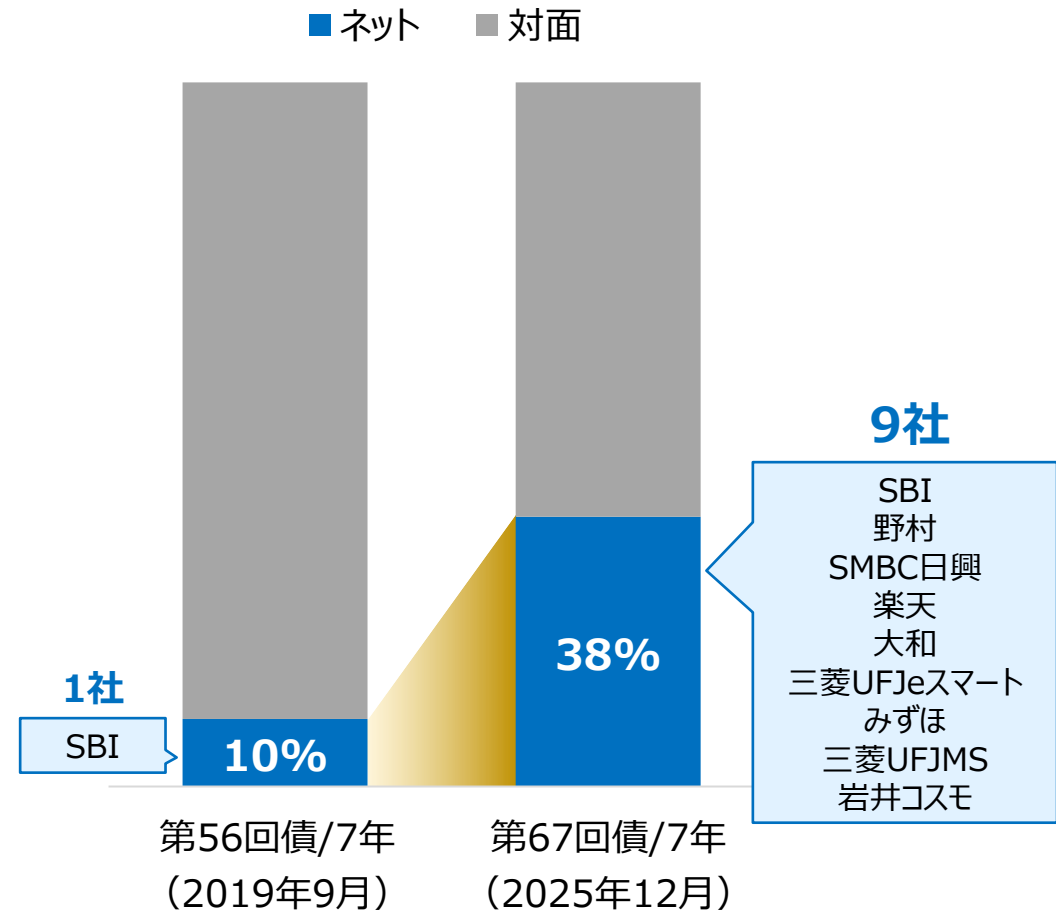
リテール債：個人投資家層の広がり

個人投資家の利回り志向を背景に、当社債保有者は着実に増加
ネット販売の拡大により、現役世代・若年層の更なる取り込みを期待

SBGリテール債保有者数*1



ネット販売比率（件数ベース）*3



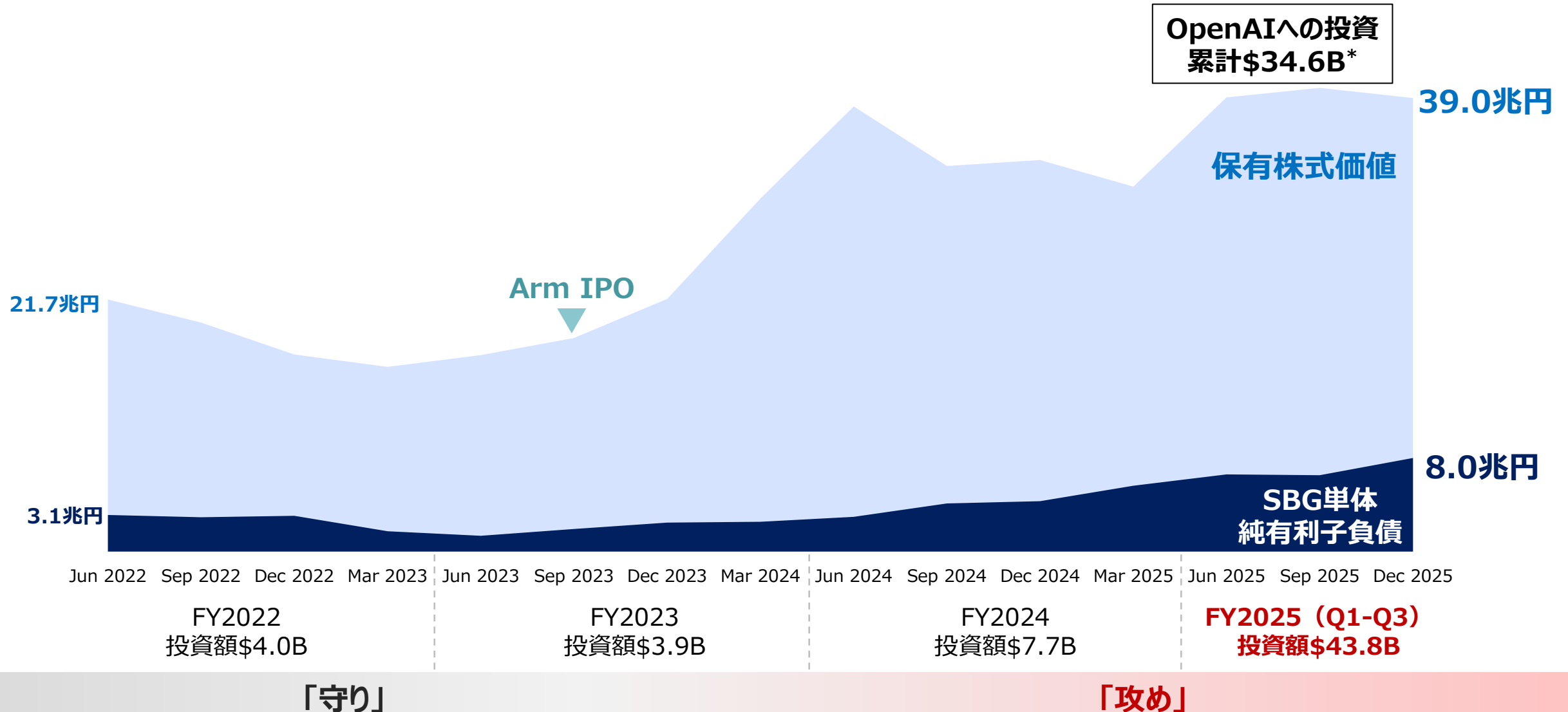
*1 各期末時点でのSBG社債保有口座のべ数の合算。販売証券会社からのヒアリングをもとに当社集計

*2 所有単元ベース (2025年12月末時点)

*3 第56回債 (のべ10.3万件) と第67回債 (のべ10.1万件) の個人投資家への販売件数を集計

保有株式価値・純有利子負債の推移 (FY2022~)

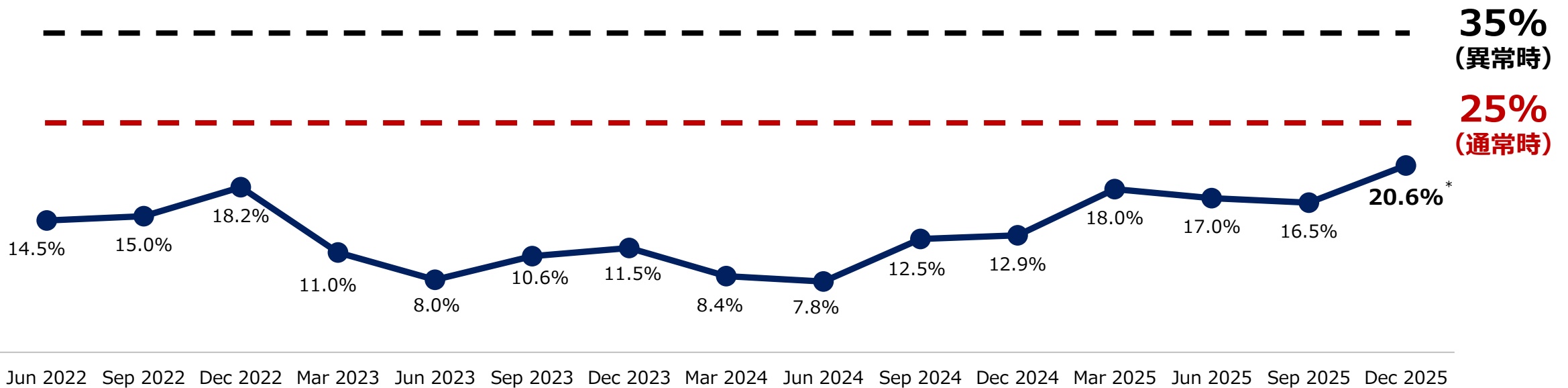
レバレッジを拡大し、機を捉えた投資を実行



* 売却額をネットした投資額

LTVの推移 (FY2022~)

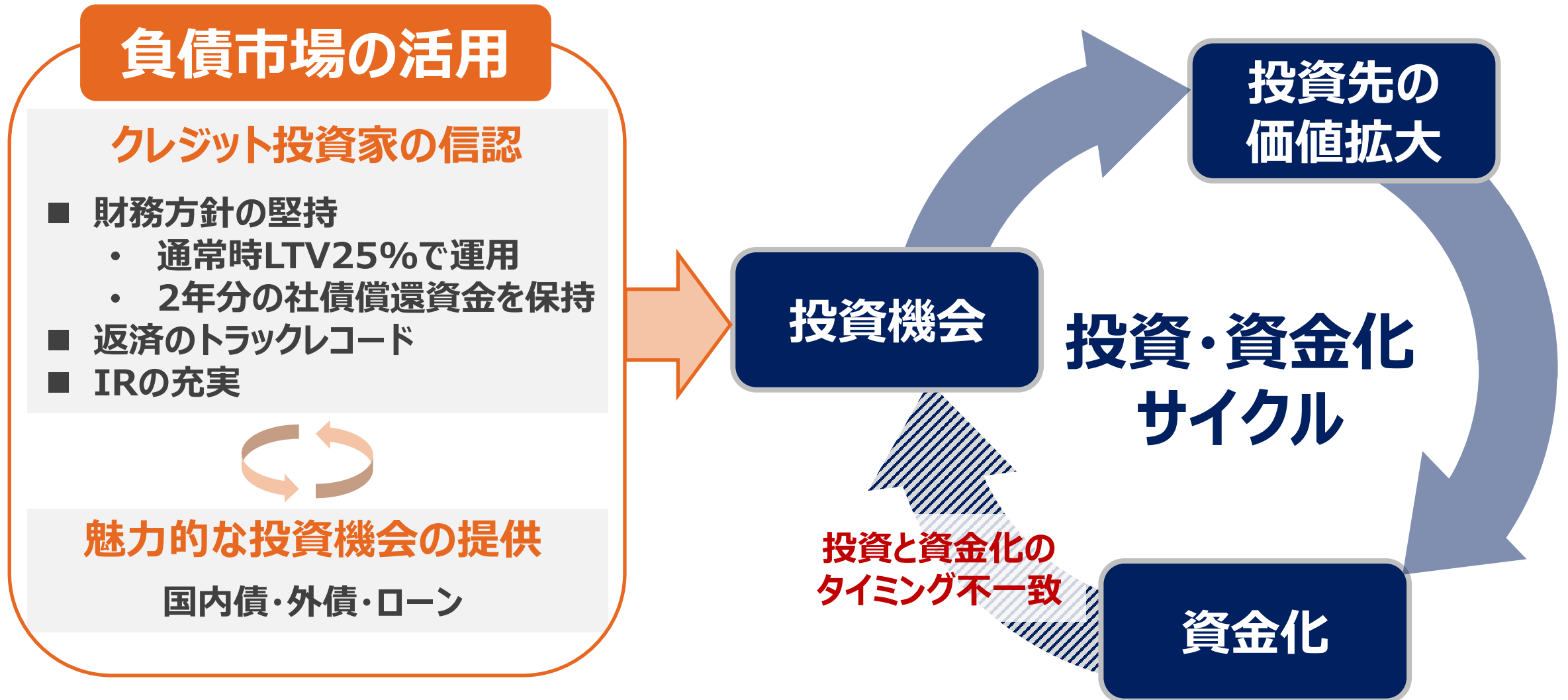
投資先の価値拡大が安定的なLTV推移に寄与



・ 各四半期末時点の数値を記載
 * 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

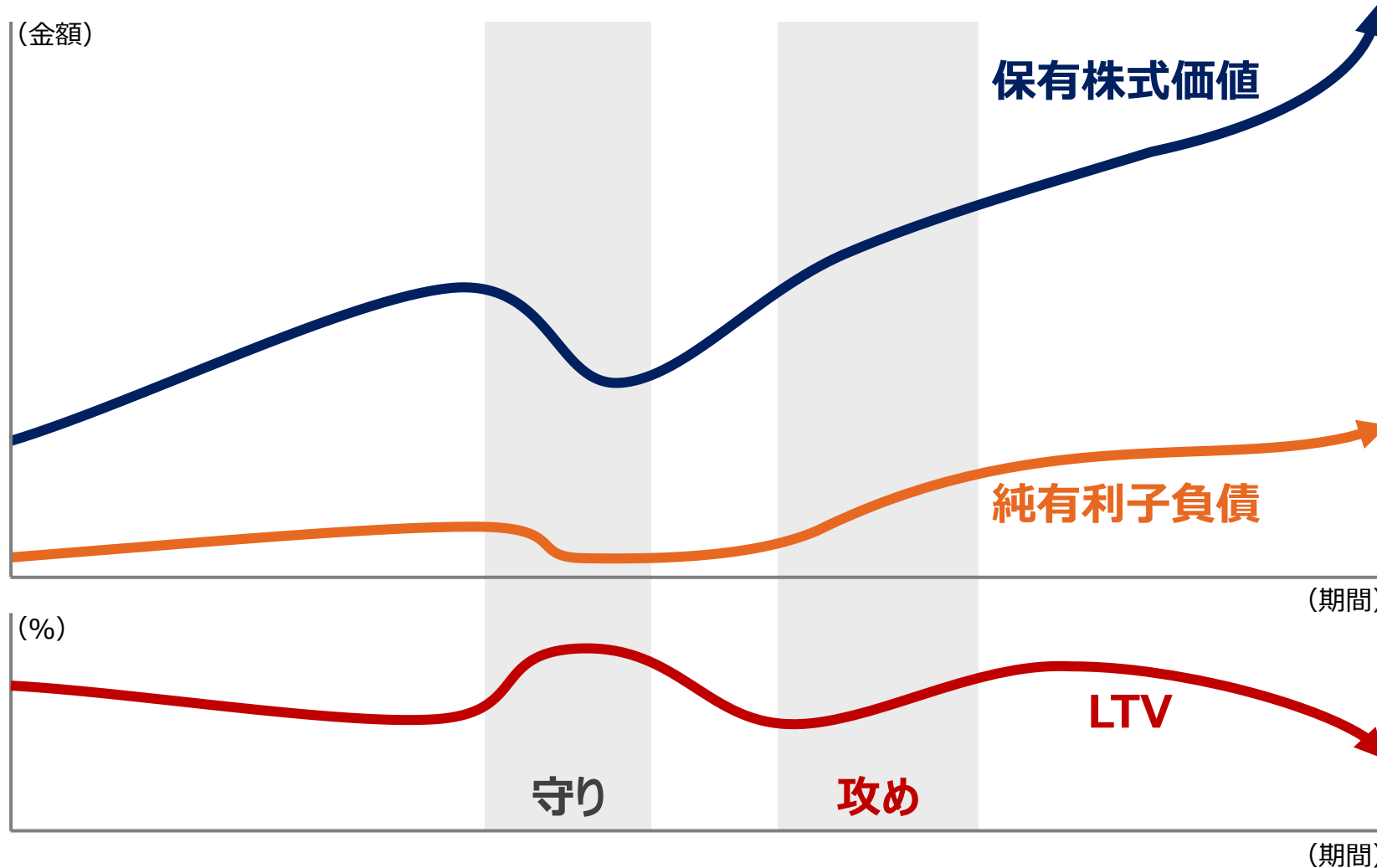
投資持株会社の財務：NAV成長と投資機会の優先

レバレッジ活用により魅力的な投資機会を捉え、中長期的なNAV成長を目指す



投資持株会社の財務：レバレッジ活用（イメージ）

投資持株会社の企業価値（株主価値＋負債価値）の源泉は投資先の成長
 「守り」ではLTVをコントロール、「攻め」では投資収益を最大化し、LTVも改善へ

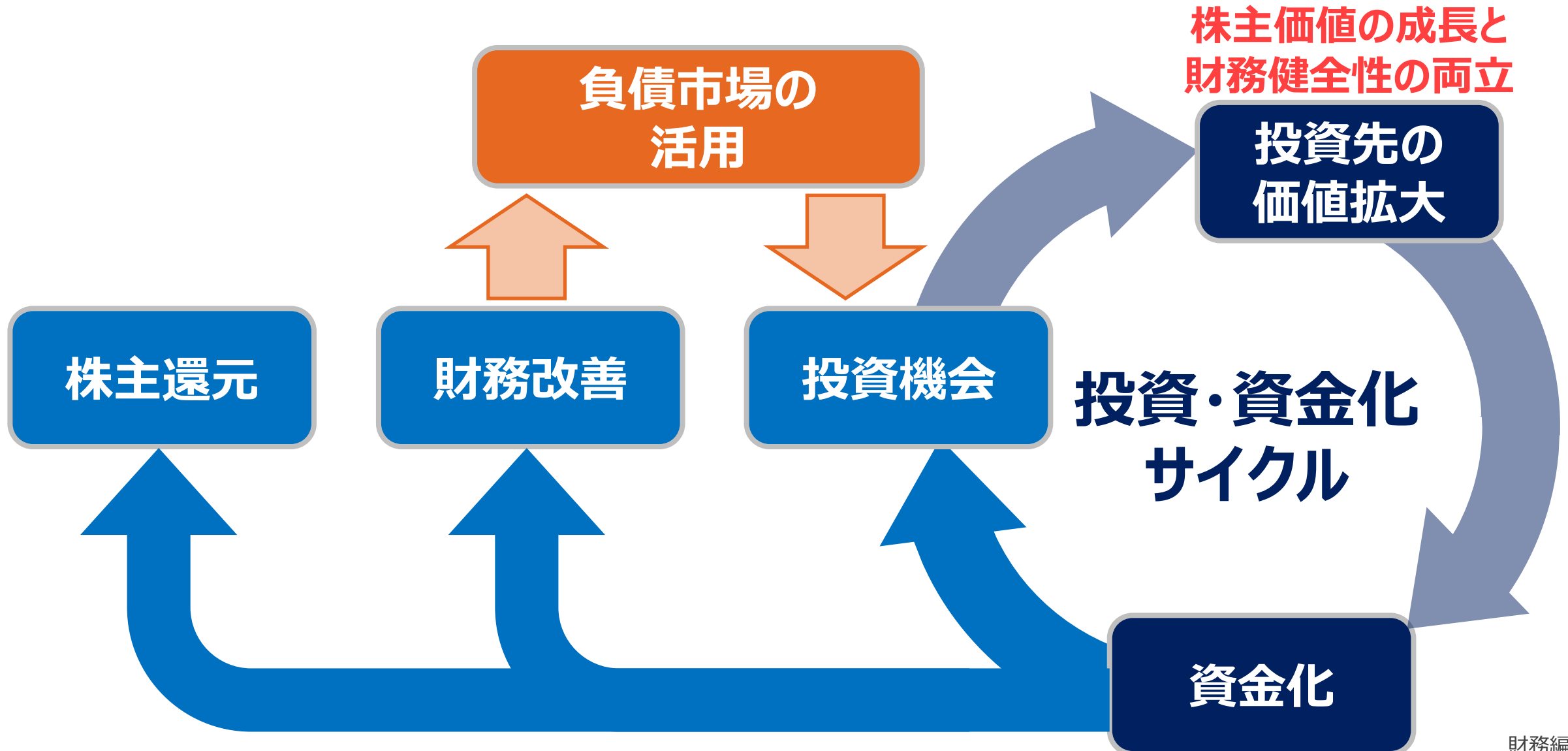


中長期的な
アセット成長

LTV維持・改善と
負債調達拡大は
両立可能

投資持株会社の財務：キャピタルアロケーション

投資推進とステークホルダーへの還元のベストミックスが長期的な成長を支える



不確実性の高い環境下、慎重かつ大胆に財務活動を展開し、NAV成長の礎を築く

SBG財務運営の「強み」をフル活用 — 長年培った財務の土壌をさらに深耕



投資

経営とシンクロしながら市場変動に即応

- 原則、投資機会を優先。NAV成長で更なる株主還元と財務改善を実現
- 「投資時期」「資金調達手段」の分散によってあらゆる状況への対応余地を確保。市場急変時には速やかに投資ペース調整

調達

多様な手法を活用して投資資金を確保

- リコース・ノンリコース問わず、ニーズに合った社債・ローン商品を整え、大型調達を実行（e.g.多様な手法でのブリッジローンのパーマネント化やOpenAI追加投資資金）
- 安定した社債調達基盤や一層強化された銀行リレーションを最大限活用

LTV

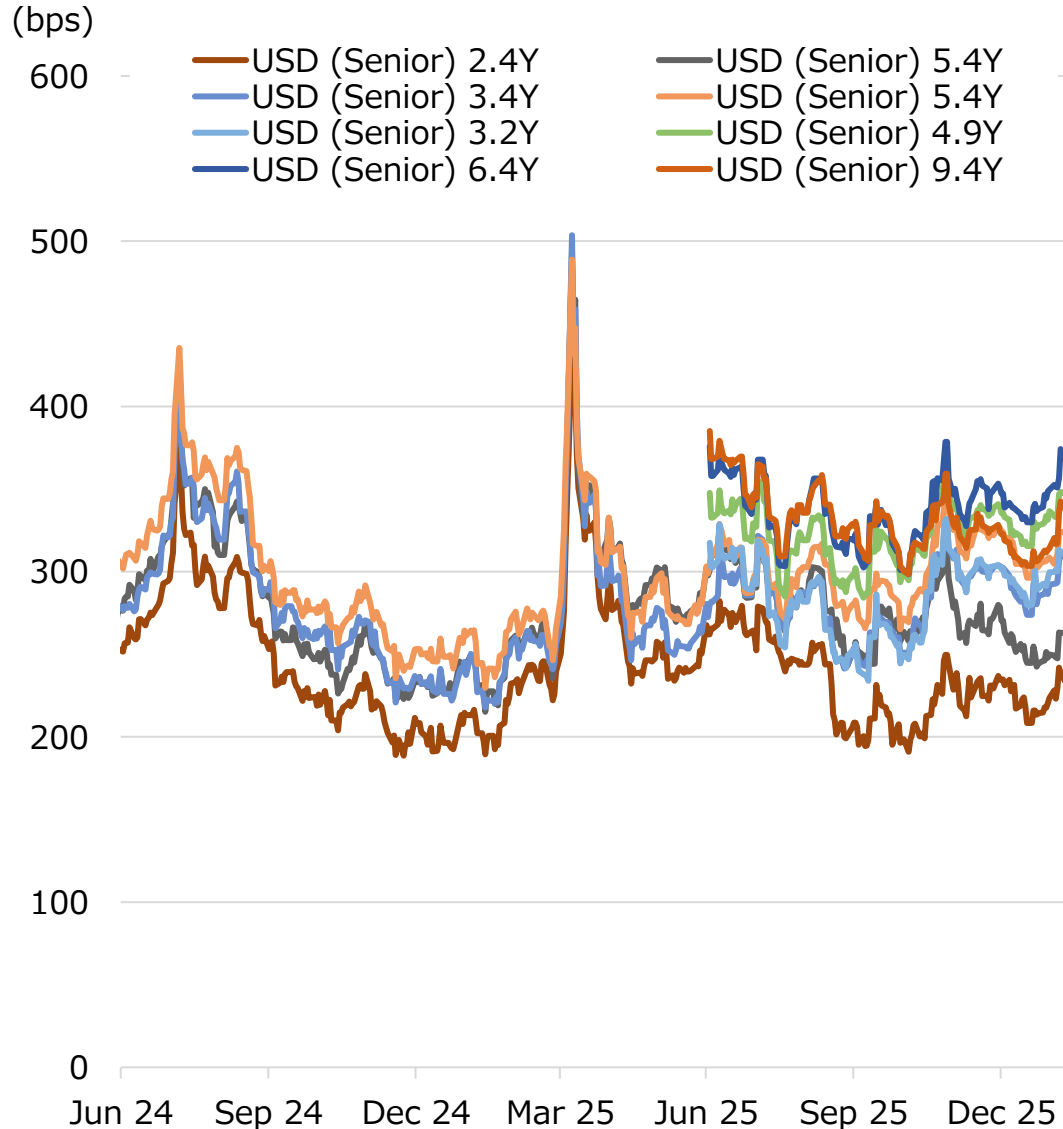
LTVの徹底管理を継続

- 投資実行と市場悪化により、LTVにストレスが掛かることも想定。常に多種多様な調達手法を準備（特にアセットファイナンスやハイブリッド調達など）

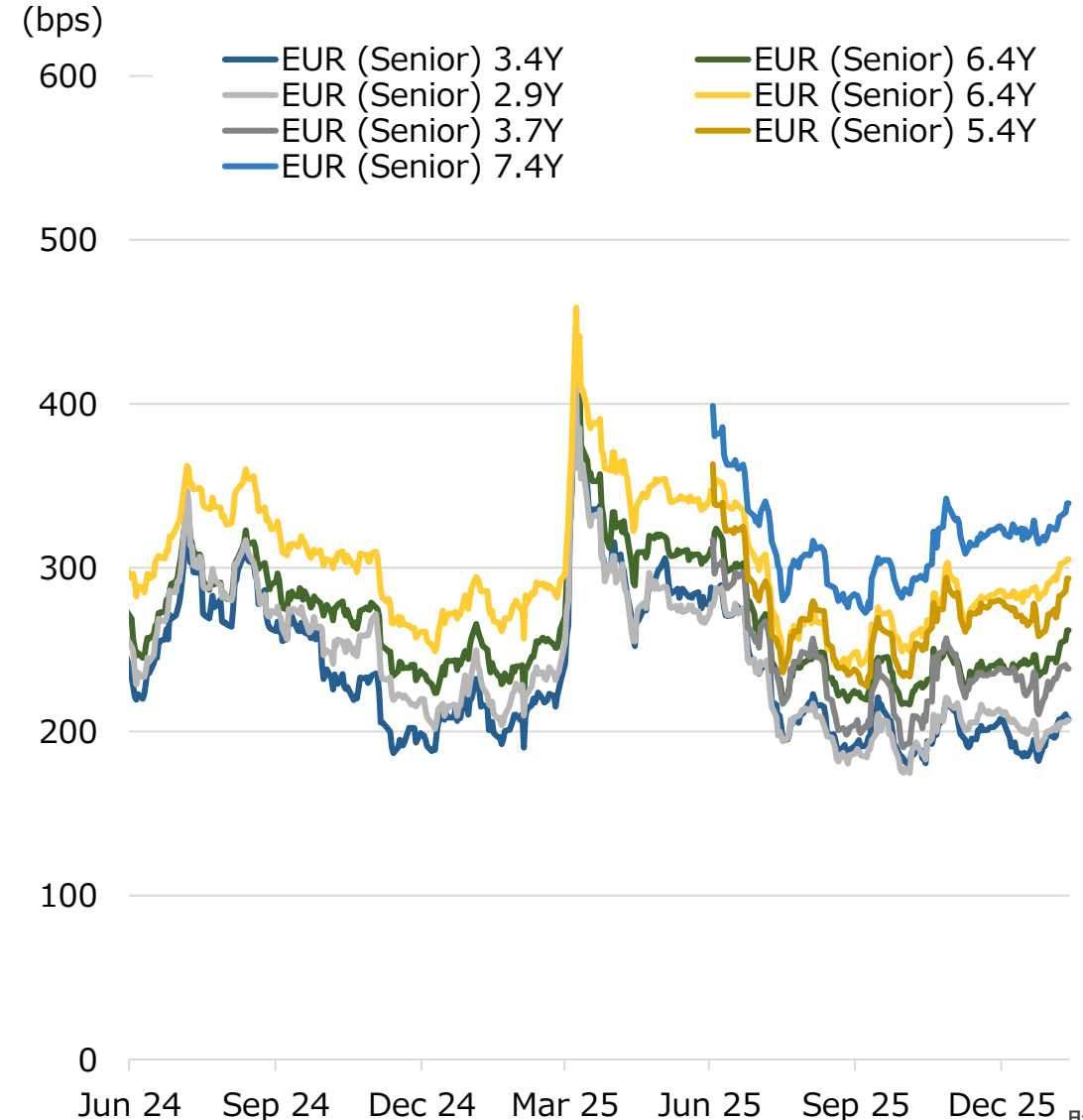
Appendix

当社外債シニアスプレッド

ドル建シニア債スプレッド



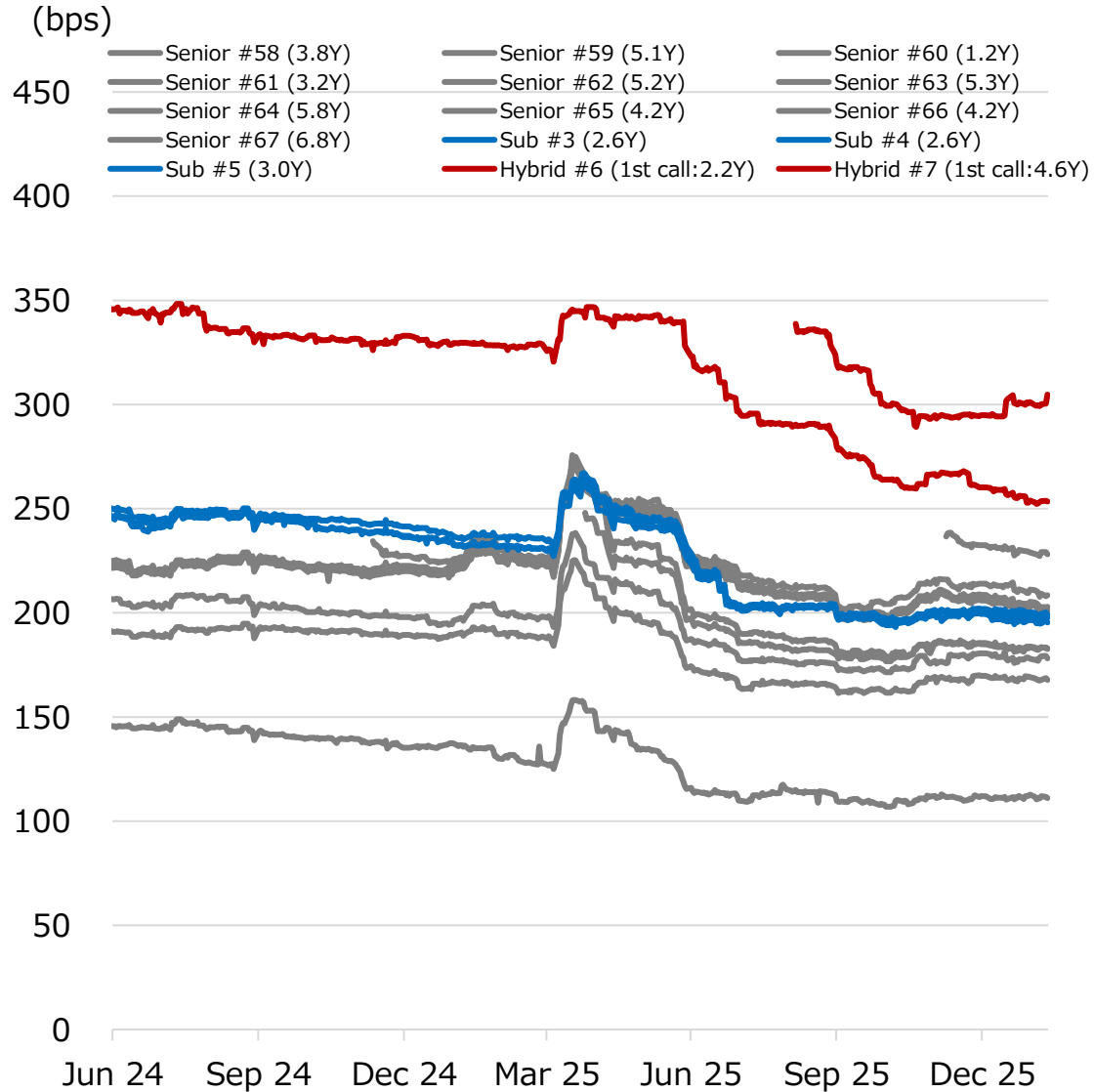
ユーロ建シニア債スプレッド



(注) 2026年2月11日時点。Bloombergを基に当社作成。2021年以降に発行した外貨建シニア債のうち、残存期間が1年以上の銘柄のZスプレッド (BID)

当社国内債スプレッドおよび5年CDS

国内債スプレッド



5年CDS



(注) 2026年2月11日時点。国内債スプレッドはBloombergを基に当社作成。残存期間が1年以上の銘柄のGスプレッド (MID)。5年CDSはCapital IQを基に当社作成

2025年12月末：保有株式価値（算出方法）

1ドル=156.56円

(兆円) **43.3兆円**
(調整前)

保有株式価値
(調整後)

=

保有株式価値
(調整前)

アセットバック・ファイナンス
調整額

マージンローン 4.3

12.7兆円

15.8兆円

保有株式数
923百万株*1 × 株価
\$109.31*1

マージンローン
3.1兆円

Arm 12.7

2.9兆円

4.1兆円

保有株式数
19,149百万株 × 株価
214.8円

マージンローン
1.2兆円

SBKK 2.9

3.8兆円

3.8兆円

各ファンドの
保有資産価値相当 × SBG
持分

+ 成功報酬等

SVF1 3.8

13.2兆円

13.2兆円

SVF2 13.2

1.0兆円

1.0兆円

LatAm 1.0
Tモバイル 0.9

0.9兆円

0.9兆円

保有株式数
29百万株 × 株価
\$203.04

その他 4.5

39.0兆円
(調整後)

Dec 2025

(注) 各計算式の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照
*1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

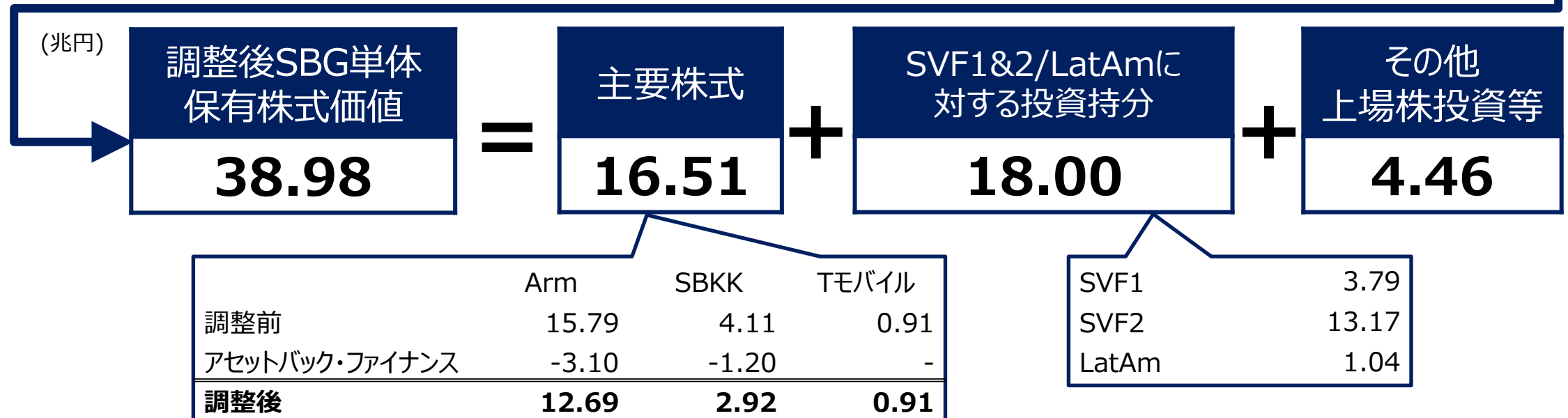
(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

8.05兆円

=20.6%

(V) 調整後
SBG単体 保有株式価値*1

38.98兆円



(注) 2025年12月末時点

*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」を参照

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(a) Arm	12.69	
調整前	15.79	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価（1,009億米ドル;15兆7,913億円）
アセットバック・ファイナンス調整	-3.10	SBGが保有する同社株式を活用したマージンローンによる借入の負債残高相当額（3兆1,009億円）
(b) SBKK	2.92	
調整前	4.11	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-1.20	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額（1兆1,960億円）
(c) SVF1	3.79	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
(d) SVF2	13.17	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
(e) LatAmファンド	1.04	LatAmファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分+成功報酬の見込み金額等
(f) Tモバイル	0.91	SBGの保有株式数×同社株価
(g) その他	4.46	<p>上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価</p> <p>非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値 （公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出</p> <p>SB Northstar：SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分。ただし、SB Northstarの純有利子負債はSBGの純有利子負債に含まれるため、保有株式価値から控除して算出</p>
SBG単体 調整後保有株式価値	38.98	(a)~(g)までの合計額

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

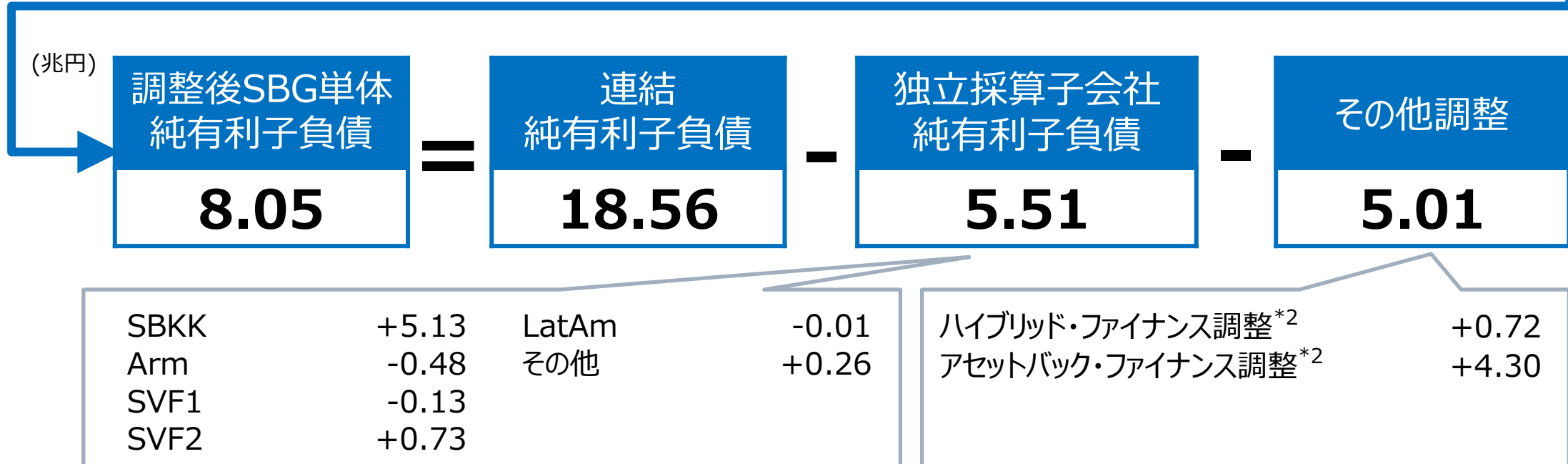
(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債*1

8.05兆円

=20.6%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

38.98兆円



(注) 2025年12月末時点

*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行およびLINE Bank Taiwanの「銀行業の預金-手元流動性」は含まない。

*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

(兆円)

SBG単体 調整前純有利子負債	13.06	連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整	-0.72	ハイブリッド債およびハイブリッドローンについて、期限付きのものは連結会計上、全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除、永久債については連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。
アセットバック・ファイナンス調整	-4.30	
Arm	-3.10	Arm株式を活用したマージンローン負債残高相当額（3兆1,009億円）
SBKK	-1.20	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額（1兆1,960億円）
SBG単体 調整後純有利子負債	8.05	

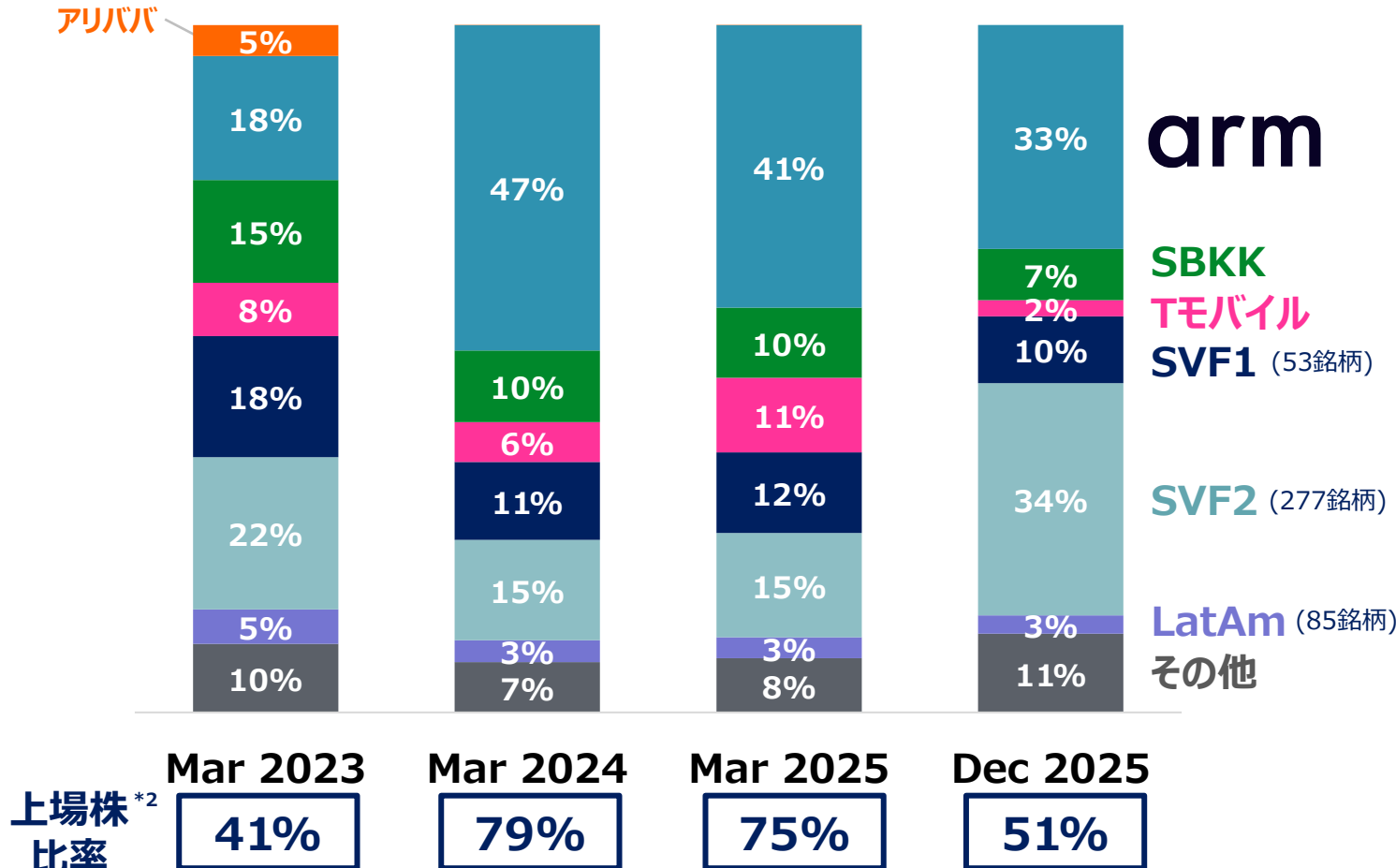
(注) 2025年12月末時点

- ・ 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性
- ・ 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資

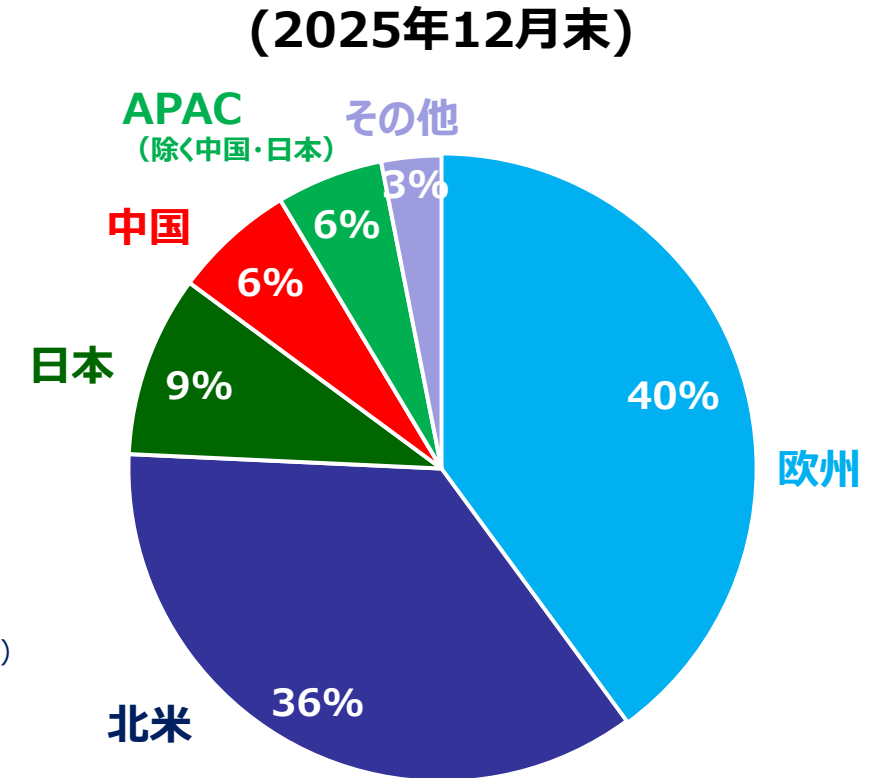
保有株式価値の内訳および地域分散

アセットバック・ファイナンス除く

保有株式価値の内訳*1



ポートフォリオの地域分散*3



*1 保有株式価値の各時点の詳細は、各四半期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照

*2 アリババ、SBKK、Tモバイル、SVFが保有する上場株式、および「その他」に含まれる上場株式を含む（ただし、SVFはSBGの持分のみを含む）。アームは2023年9月に上場。

*3 各投資先の本社所在地に基づき地域を分類

中国：SVF1・SVF2（中国相当）およびその他の中国投資の合計、日本：SBKK、SVF1・SVF2（日本相当）およびその他の日本投資の合計、APAC（除く中国・日本）：SVF1・SVF2（中国・日本を除くAPAC相当）およびその他の中国・日本を除くAPAC投資の合計
 欧州：アーム、SVF1・SVF2（欧州相当）およびその他の欧州の投資等の合計、北米：Tモバイル、SVF1・SVF2（北米相当）およびその他の北米投資の合計、その他：本社所在地が中国、日本、APAC、欧州、北米以外への投資の合計

通貨内訳

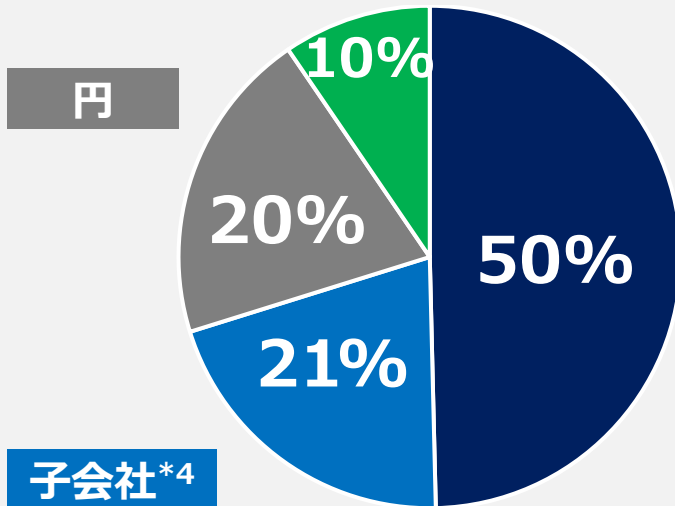
投資と資金化のフローは大半がドルベース、負債は原則同通貨でのリファイナンスを想定

投資と資金化

手元流動性：3.3兆円*1

保有株式価値：39.0兆円*2

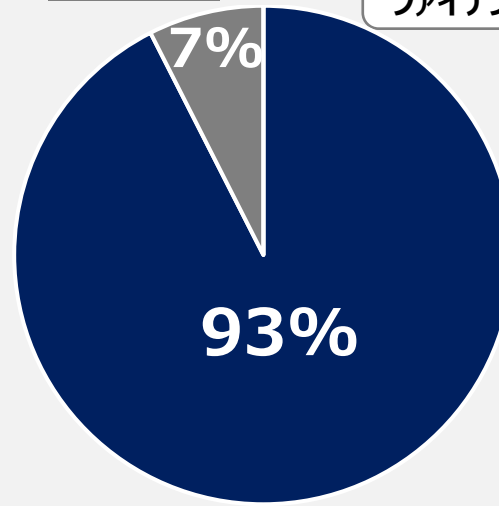
ユーロ等



(大部分は米ドル)

円

アセットバック・ファイナンス除く



米ドル

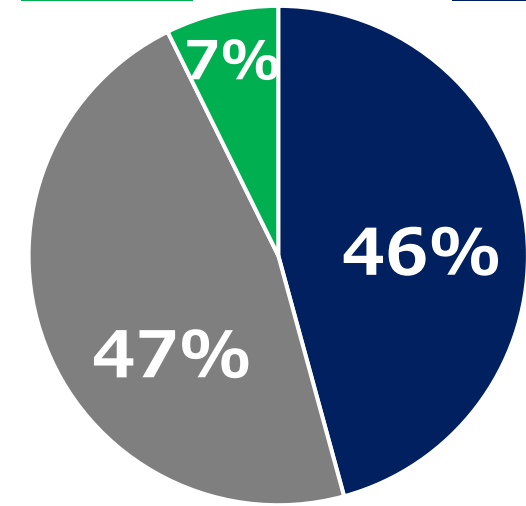
負債構成

(マージンローン含む)

有利子負債*3：16.3兆円

ユーロ等

米ドル



円

(注) 2025年12月末時点。1ドル=156.56円、1ユーロ=184.33円を前提に円換算

*1 手元流動性=現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+債券投資。SBG単体ベース

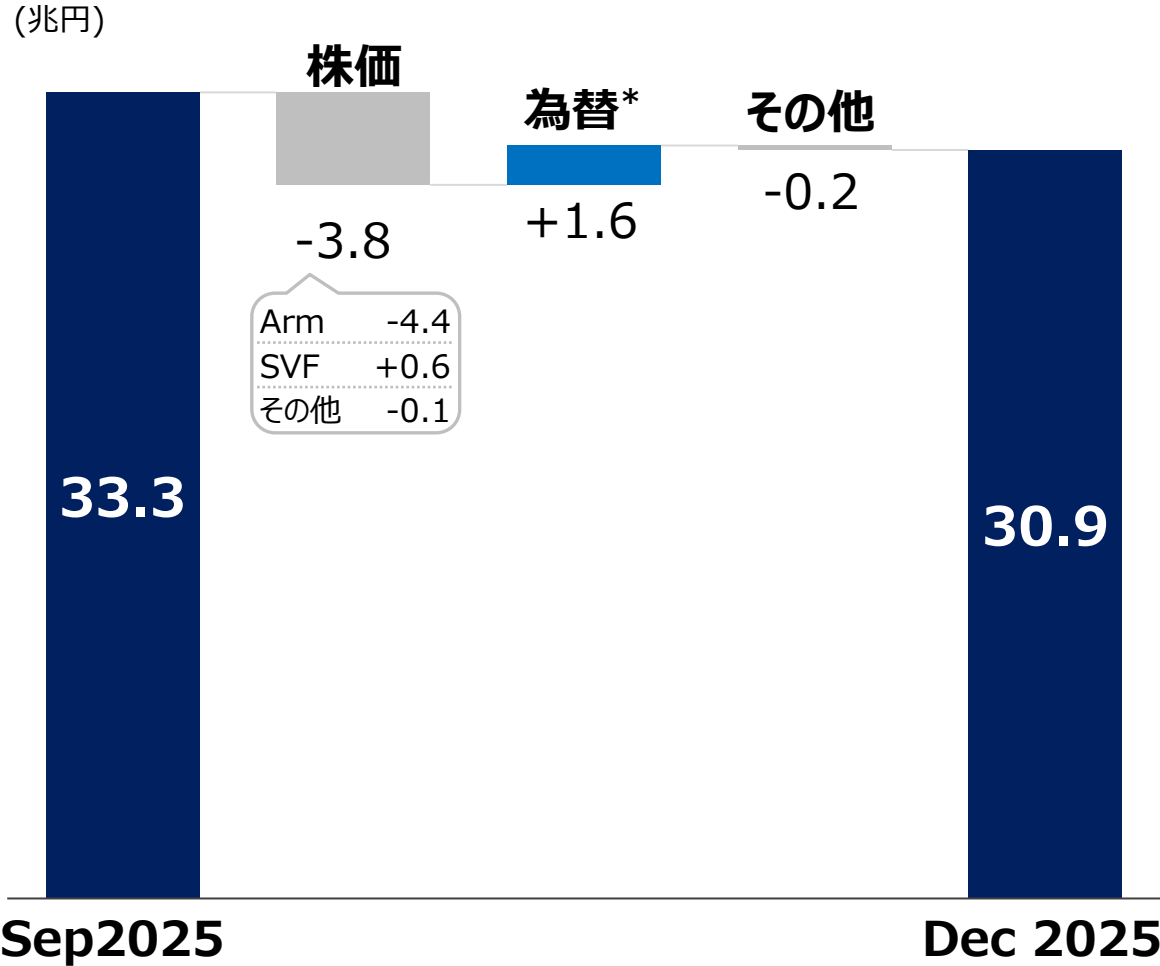
*2 SBG単体保有株式価値。詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体保有株式価値」を参照。SVF1、SVF2、LatAmは全て米ドルとして計算

*3 2025年12月末時点のSBG単体有利子負債（SBG単体有利子負債のうち、子会社有利子負債の「その他」を除く。SB Northstarは全て米ドルとして計算。詳細は本編「SBG単体 有利子負債」を参照）

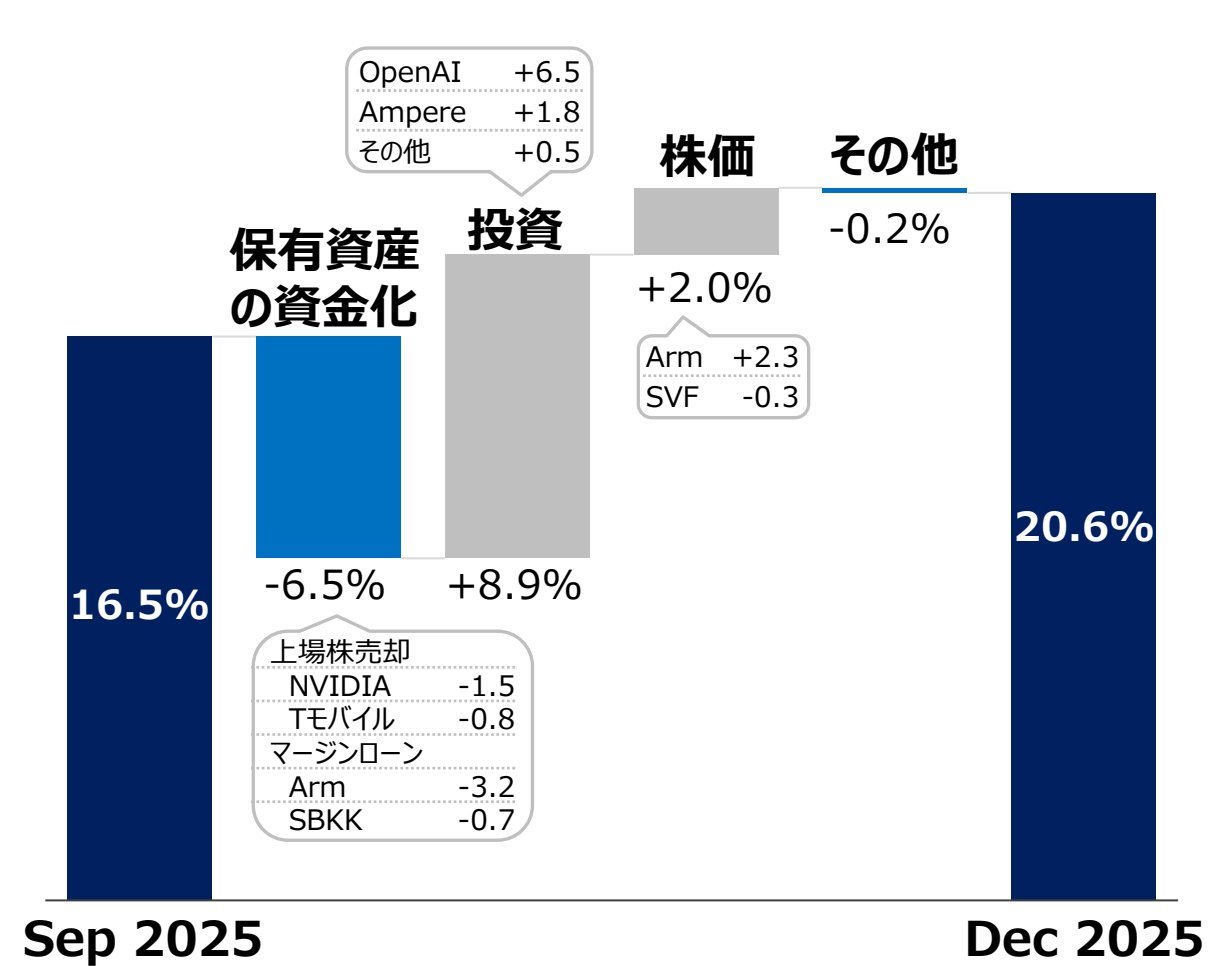
*4 SB Northstarを除く

NAV・LTVの変動要因

NAV



LTV



* 2025年12月末時点の現地通貨建ての保有株式価値、有利子負債および手元流動性について2025年9月末時点の為替レートで円換算したときのNAVとの差額。ただし、SVF1・2・LatAm・SB Northstarは米ドル建てとみなして試算

連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債*1

(単位:億円)

	Dec 2024	Mar 2025	Jun 2025	Sep 2025	Dec 2025
SBG単体	129,519	121,392	123,261	126,059	163,440
SVF1&2、LatAm	5,404	5,013	4,609	6,471	8,347
ソフトバンク事業	62,158	59,622	65,104	64,682	66,176
その他 (Arm等)	3,182	3,107	3,478	3,991	4,539
合計	200,263	189,134	196,453	201,203	242,502

連結手元流動性*2

(単位:億円)

	Dec 2024	Mar 2025	Jun 2025	Sep 2025	Dec 2025
SBG単体	31,769	26,233	29,339	35,024	32,858
SVF1&2、LatAm	720	648	930	2,949	2,431
ソフトバンク事業	14,641	12,831	13,102	13,086	14,869
その他 (Arm等)	6,791	5,366	5,548	6,041	6,711
合計	53,921	45,078	48,919	57,101	56,870

連結純有利子負債*3

(単位:億円)

	Dec 2024	Mar 2025	Jun 2025	Sep 2025	Dec 2025
SBG単体	97,750	95,160	93,922	91,035	130,581
SVF1&2、LatAm	4,684	4,364	3,679	3,522	5,916
ソフトバンク事業	47,517	46,790	52,002	51,596	51,307
その他 (Arm等)	-3,610	-2,259	-2,070	-2,051	-2,172
合計	146,342	144,055	147,534	144,102	185,632

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。銀行子会社（PayPay銀行およびLINE Bank Taiwan）の銀行業の預金は含まない。

*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。SB Northstarは、2024年12月末までは「資産運用子会社からの投資」を含み、2025年3月末以降はそのうち債券投資のみを含む。銀行子会社（PayPay銀行およびLINE Bank Taiwan）の手元流動性は含まない。

*3 銀行子会社（PayPay銀行およびLINE Bank Taiwan）の「銀行業の預金 - 手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ。Dec 2024: 2024年度Q3に完了したSVF2への投資移管に伴う資金回収見込み額を含まないため、「SBG単体 純有利子負債」に差異が生じる。